平成21年度 文部科学省委託事業「教員の資質能力追跡調査事業」

追跡調査による教員の 養成・採用・研修システムの検証と改善

成果報告書

平成22年3月

香川大学

本報告書は、文部科学省による委託事業「教員の資質能力追跡調査事業」の「追跡調査による実証」部門において採択された「追跡調査による教員の養成・採用・研修システムの検証と改善」の調査研究の結果報告書である。

この調査研究は、「一定数の学生・教員に継続的に追跡調査を行うことなどにより、学生・教員の資質能力と現在行われている教員養成・採用・研修の効果等との関係を実証的に調査・分析することを通して、教員としての資質能力がどのように養成されているのか、そして、優れた人材を教員として確保するためにどのような養成・採用・研修等が行われるべきか」を明らかにすることを事業内容としている。

この「追跡調査による実証」部門では、全国 16 大学の研究が採択されており、香川大学はそのうちの 1 校である。新見治前教育学部長を調査責任者として申請した本調査研究は、2009(平成 21)年9月よりスタートした。その後、2009(平成 21)年10月に、新見学部長の任期満了にともない、有馬道久教育学部長へとバトンタッチされた。半年後の現在、今年度の調査研究を終え、その成果を報告書にまとめる段階に至った。

本調査研究は、これまで教育学部が取り組んできた教員養成の、いわば総点検である。そのため、本調査研究がスタートした時点で、総勢20名からなる実施委員会が組織された。この20名には、大学教員とともに、香川県教育委員会のご協力を得て、教育委員会関係者1名も含まれている。この実施委員会を母体とし、さらに実施委員会から選出された7名によるワーキンググループも組織され、本調査研究は進められていった。

本調査研究の主な対象は、香川県内の小学校にすでに勤務している卒業生および勤務を 希望する在学生である。しかしながら、本年度は調査研究の初年度でもあり、可能な限り 教育学部における教員養成の取り組みを総体的に把握するために、香川県内の勤務を希望 する在学生に限らず、小学校以外の教員志望者を含め、教員志望の4年生全員を調査対象 としてアンケート調査を実施した。

加えて、来年度(2年目)および再来年度(3年目)に実施を予定している調査研究の前段階にあたる調査として、2009(平成21)年3月に本学部を卒業し、現在、香川県内の小学校に勤務している卒業生にもアンケート調査を実施すると同時に、卒業生の勤務校の管理職にもアンケート調査およびヒアリング調査を実施した。

しかしながら本報告書では、本年度の本来の研究課題である教員志望の4年生に対する 調査結果のみを掲載している。卒業生に対するアンケート調査および卒業生の勤務校の管 理職に対するアンケート調査およびヒアリング調査結果は、来年度および再来年度の調査 結果と合わせて分析するためのデータであることから、これらについては、来年度および 再来年度の調査結果とあわせて分析した上で公表する。

いずれにしても、在校生だけでなく卒業生にも、さらには卒業生の勤務校の先生方にも

多大なご協力を得ることができたことで、本調査研究は貴重な成果を得ることができた。 多大なご協力を得た本調査研究にもとづくデータが、今後の教育学部が進むべき道を指し 示すことであろう。

本調査研究に対してご協力いただいた皆様に対し、この場をお借りして心から厚く御礼を申し上げたい。さらに、来年度および再来年度と継続して実施予定である本調査研究の成果全体を得るまでにはまだ時間を要する。今年度の調査結果をもとに、さらに調査研究を進めていく中では、今後も関係者の皆様からのご協力が不可欠である。今後の香川大学教育学部の発展のために、また今後の日本の教員養成の発展のためにも、引き続き本調査研究へのご協力をお願いしたい。

平成22年3月

追跡調査・実施委員会委員長 柳 澤 良 明

目 次

1	•	調査	目的		• •	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		1
2		研究	体制			•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		2
3		調査	方法			•	•	•	•	•	•	•	•	•	•			•				•		•		•		•	•	•				3
4	•	調査	結果																															
	Α	あ	なた	自身	身の	こ	ع :	にに	つ	ιI	て			•						•														6
	В	性	格に	つし	17		•		•		•			•						•														9
	C	大	学生	活I	こつ) l	17	• •			•		•	•	•					•														9
	D	教	員志	望(の動	协機	割こ	つ	L١	7																							1	0
	Ε		学進																															
	F		学の																															
	G	学	校教	育基	基礎	翻	f究	; ຕ	科	目																							1	4
	Н		校教																															
	I	学	校教	育	発展	その	f究	,	科	目			•		•																		1	8
	J		育実																															
	K		業研																															
	L	教	職自	主!	ナー	- ク	゚ル	^	ග :	参.	加	に	つ	L١	て																		2	4
	M	ボ	ラン	ティ	ィア	'活	動	<u>ا</u> م	ග :	参.	加	に	つ	L١	て																		2	6
	Ν	教	員免	許丬	犬以	外	への	資	格	取	得	状	況		•																		2	9
	0	教	員採	用記	式騎	ار از	向	ゖ	て	<u></u>	専	門	学	校	ゃ	通	信	教	育	に	っ	ι١	て										3	1
	Р	大	学で	の言	邹活	動	j •	サ	_	ク	ル	活	動	に	つ	L١	て			•													3	2
	Q	ア	ルバ	1	- σ.)経	鯀	iات	つ	ιı	て		•	•	•					•													3	5
	R	教	員採	用記	式騎	^ ∮	の	努	力	に	つ	L١	て	•	•					•													3	7
	S	取	得単	位数	汝に	:) l l	て			•		•	•	•					•													4	4
	Т		績に																															
5		考察				•	•	•	•	•	•	•	•	•	•			•		•	•	•	•	•	•	•		•	•	•			4	6
c		*	答	<i>(</i> -		, _} _		L	`	_																							_	1

1.調査目的

本研究における調査目的は、「教育現場で生じている様々な課題や今後の新たな教育課題により的確に応え得るための教員養成課程の質的な充実を図るため、教員に必要な資質能力を実証的に明らかにし、今後の専門的な検討に資すること」である。

また、本調査研究の事業内容は、「一定数の学生・教員に継続的に追跡調査を行うことなどにより、学生・教員の資質能力と現在行われている教員養成・採用・研修の効果等との関係を実証的に調査・分析することを通して、教員としての資質能力がどのように養成されているのか、そして、優れた人材を教員として確保するためにどのような養成・採用・研修等が行われるべきか」を明らかにすることである。

いいかえれば、本調査研究は、これまで香川大学教育学部が取り組んできた教員養成の 総点検である。教育学部での教員養成の取り組みを多面的に取り上げ、それらを実証的に 把握することにより、今後の教員養成の改善に活かしていこうとする試みである。

2. 研究体制

上記の調査目的のもとに、調査研究の実施にあたり、以下のような研究体制を組織した。 表 のように、教育学部教員 19 名および香川県教育委員会関係者 1 名から構成される追跡 調査実施委員会を設置した。この中から、さらに7名から構成されるワーキンググループ を組織し、調査の基本計画の作成等を行った。

表 追跡調査実施委員会の構成

	K C C O IGIN				
事業代表者		有	馬	道久	香川大学教育学部
実施委員会委員長	ワーキンググループ	柳	澤	良明	"
実施委員会委員	"	大	ス保	智 生	"
	"	上	原	禎 弘	"
	"	野	崎	武 司	"
	"	山	岸	知 幸	"
	"	山	下	隆章	"
	"	山	本	木ノ実	"
		安	東	恭一郎	"
		伊	藤	裕康	"
		岡	田	知 也	"
		小	方	朋 子	"
		風	間	喜美江	"
		加	藤	みゆき	"
		北	林	雅 洋	"
		Ш	田	学	"
		黒	田	勉	"
		佐	藤	明宏	"
		田	中	聡	"
		篠	原	好 宏	香川県教育委員会

3.調査方法

銀位香鶥

調査対象は、教育学部で教員を志望する4年生のうち、調査協力に同意した学生75名である。

調査項目

A 学生自身のことについて

学生自身のこととして、1.性別、2.所属研究室、3.出身地、4.取得する免許状、5. 入試形態、6.講師希望者の希望地域を尋ねた。

B 性格について

中里・下仲・権藤・高山(1999)が作成した神経症傾向、外向性、開放性、調和性、誠実性の5因子からなるNEO-FFI60項目を使用した。神経症傾向とは抑うつに対する敏感さを意味する因子であり、外向性とは社交性や活動性を意味する因子であり、開放性とは好奇心や知的好奇心を意味する因子であり、調和性とは協調性や利他性を意味する因子であり、誠実性とは自己統制力や達成への意志の強さを意味する因子である。回答形式は「全くそうでない」(0点)から「非常にそうだ」(4点)までの5件法である。

C 大学生活について

大久保・川田・江村・折田 (2010)が作成した友人との関係、教員との関係、学業の 3 因子からなる大学生活尺度 20 項目を使用した。回答形式は「全くあてはまらない」(1点)から「非常にあてはまる」(5点)までの5件法である。

D 教員志望の動機について

伊田(2005)が作成した対人志向動機、恩師志向動機、学校志向動機の 3 因子からなる 教員志望動機尺度を使用した。回答形式は「あてはまらない」(1 点)から「あてはまる」 (7点)までの7件法である。

E 大学進学動機について

大久保・川田・江村・折田(2010)が作成した外的・取り入れ的調整、同一視的調整、内的調整の3因子からなる自律的大学進学動機尺度32項目を使用した。取り入れ的調整とは「他者に薦められたから」など自律性の低い外発的動機であり、同一視的調整とは「自分にとって重要だから」など自律性の高い外発的動機であり、内的調整とは「楽しいから」や「好きだから」などの内発的動機である。回答形式は「全くあてはまらない」(1点)から「非常にあてはまる」(5点)までの5件法である。

F 大学の授業全般について

大学の授業全般について、1.出席、2.努力、3.満足度、4.思い出に残る授業、5.教師になった際に役立つと思える授業、6.採用試験に役立つと思える授業を尋ねた。

G 学校教育基礎研究の科目について

学校教育基礎研究の科目(教職の意義や児童生徒の発達理解等に関する科目)について、1.出席、2.努力、3.満足度を尋ねた。

H 学校教育実践研究の科目について

学校教育実践研究の科目(教科研究や学校生活研究)について、1.出席、2.努力、3. 満足度を尋ねた。

I 学校教育発展研究の科目について

学校教育発展研究の科目(専門領域選択科目や自由科目)について、1.出席、2.努力、3.満足度を尋ねた。

」 教育実習について

教育実習について、1.3年次と4年次の実習校、2.3年次の実習の努力、3.3年次の実 習の満足度、2.4年次の実習の努力、3.4年次の実習の満足度を尋ねた。

K 卒業研究について

卒業研究について、1.努力、2.満足度を尋ねた。

L 教職自主サークルへの参加について

教職自主サークルの参加について、1.参加の有無(参加した場合は開始時期も尋ねた) 2.参加の頻度、3.努力、4.満足度を尋ねた。2.参加の頻度、3.努力、4.満足度については、教職自主サークルに参加した学生にだけ尋ねた。

M ボランティア活動への参加について

ボランティア活動の参加について、1.参加の有無(参加した場合は活動名・施設名も尋ねた) 2.参加の頻度、3.努力、4.満足度を尋ねた。2.参加の頻度、3.努力、4.満足度については、ボランティア活動に参加した学生にだけ尋ねた。

N 教員免許状以外の資格取得状況について

教員免許状以外の資格取得状況について、1.資格取得の有無(取得した場合は、資格名 も尋ねた) 2.努力、3.満足度を尋ねた。2.努力、3.満足度については、教員免許状以 外の資格を取得した学生にだけ尋ねた。

O 教員採用試験に向けての専門学校や通信教育について

教員採用試験に向けての専門学校や通信教育について、1.専門学校や通信教育での勉強の有無(行った場合は学校名も尋ねた)2.努力、3.満足度を尋ねた。2.努力、3.満足度については、専門学校や通信教育で勉強した学生にだけ尋ねた。

P 大学での部活動・サークル活動について

大学での部活動やサークル活動について、1.参加の有無、2.部活動やサークルの種類、3.参加の頻度、4.努力、5.満足度を尋ねた。2.部活動やサークルの種類、3.参加の頻度、4.努力、5.満足度については、部活動やサークル活動に参加した学生にだけ尋ねた。

Q アルバイトの経験について

アルバイトの経験について、1.経験の有無(経験した場合はアルバイト名も尋ねた)2. 経験の頻度、3.努力、4.満足度を尋ねた。2.経験の頻度、3.努力、4.満足度については、アルバイトを経験した学生にだけ尋ねた。

R 教員採用試験への努力について

教員採用試験への努力について、1.教員採用試験の情報収集の開始時期、2.教員採用試験受験の決断時期、3.教員採用試験のための勉強の開始時期、4.もともと教員志望であったか、5.教員採用試験のために重視した勉強、6.1日の平均勉強時間、7.相談相手、8.採用試験受験を悩んだか、9.どの程度教員になりたいか、10.教員採用セミナーの参加の有無、11.各県の教育委員会の説明会の参加の有無、12.大学の掲示している募集状況を知っているか、13.就職支援室の利用状況を尋ねた。

S 取得単位数について

学生が取得した単位については、総単位数、学校教育基礎研究の単位数、学校教育実践研究の単位数、学校教育発展研究の単位数を算出した。

T 成績について

成績については、全科目の成績の平均、学校教育基礎研究の成績の平均、学校教育実践研究の成績の平均、学校教育発展研究の成績の平均を算出した。なお、不可は 0、可は 1、良は 2、優は 3、秀は 4 とした。

分析方法

合格者の特徴を探るために、教員採用試験受験者を 1 次合格者と不合格者に分けて、各項目について比較を行った。2 次合格者と不合格者についても同様の比較を行った。なお、1 次合格者は 75 名中 41 名であり、2 次合格者は 21 名であった。

4.調査結果

- < A あなた自身のことについて >
- 1.性別を教えてください。

表 A - 1 性別

男性 31名(41.3%) 女性 44名(58.7%)

教員志望の学生は、男性約40%、女性約60%であった。したがって、教員志望の学生は、女性の学生が多いといえる。

2.所属している研究室を教えてください。

表 A - 2 所属研究室

特別支援	15名(20.0%)	教育	11名(14.7%)
保健体育科	10名(13.3%)	理科	8名(10.7%)
数学	7名(9.3%)	音楽	5名(6.7%)
家庭科	5名(6.7%)	社会科	4名(5.3%)
英語	3名(4.0%)	心理	3名(4.0%)
国語	2名(2.0%)	美術	1名(1.3%)
技術・情報	1名(1.3%)		

教員志望の学生は、特別支援約20%、教育約15%、保健体育約14%の順に多かった。したがって、特別支援研究室の学生は教員志望が多いといえる。

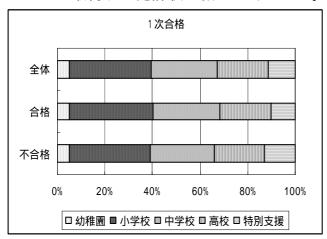
3. 出身地を教えてください。

表 A - 3 出身地

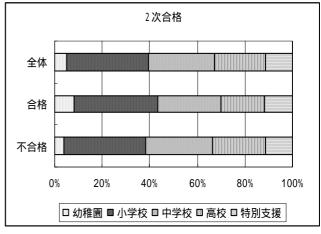
 岡山県	29名(38.7%)	香川県 22名(29.3%)
広島県	4名(5.3%)	高知県 3名(4.0%)
兵庫県	3名(4.0%)	愛媛県 2名(2.7%)
鳥取県	2名(2.7%)	島根県 2名(2.7%)
徳島県	1名(1.3%)	大阪府 1名(1.3%)
岩手県	1名(1.3%)	山口県 1名(1.3%)
福岡県	1名(1.3%)	宮崎県 1名(1.3%)
鹿児島県	1名(1.3%)	沖縄県 1名(1.3%)

教員志望の学生は、岡山県約39%、香川県約29%の順に多く、両県で約7割程度であった。したがって、教員志望の学生は岡山県と香川県の学生が多いといえる。

4.取得する免許状を教えてください。



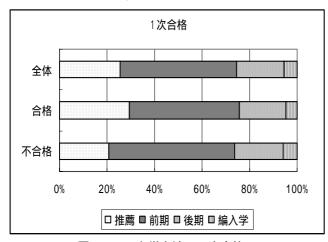
図A-4 取得免許状(1次合格)

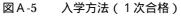


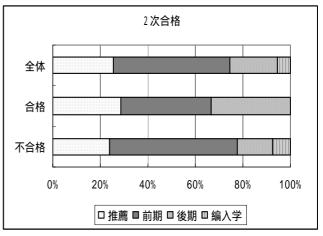
図A-4 取得免許状(2次合格)

取得する免許状は、「小学校」約35%、「中学校」約30%、「高校」約20%の順に多かった。したがって、教員志望の学生は、小学校と中学校の免許状を取得する学生が多いといえる。

5. どのような入試で香川大学に入学したのかを教えてください。







図A-5 入学方法(2次合格)

回答者においては、「前期」約50%、「推薦」約25%、「後期」約20%の順に多かった。したがって、教員志望の学生は前期試験で入学した学生が多いといえる。

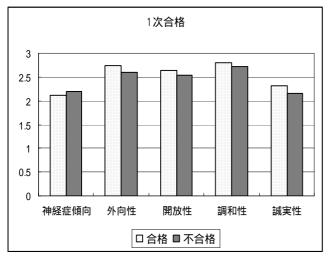
6.講師希望者の希望地域

表A-6 講師希望地域

2000 г.	3H-1-113				
香川県	2 1名(:	37.5%)	岡山県	18名(32.1%)	
愛媛県	2名(3.5%)	島根県	2名(3.5%)	
兵庫県	2名(3.5%)	広島県	1名(1.8%)	
高知県	1名(1.8%)	山口県	1名(1.8%)	
徳島県	1名(1 . 8%)	福岡県	1名(1.8%)	
大阪府	1名(1 . 8%)	長崎県	1名(1.8%)	
県名無し	4名(7 . 1%)			

希望地域は、香川県約38%、岡山県約32%の順に多く、両県で約7割程度であった。したがって、講師希望者の学生は香川県と岡山県を希望する学生が多いといえる。

< B 性格について >



2次合格 3.5 3 1.5 0.5 0 神経症傾向 外向性 開放性 調和性 誠実性 □合格 ■ 不合格

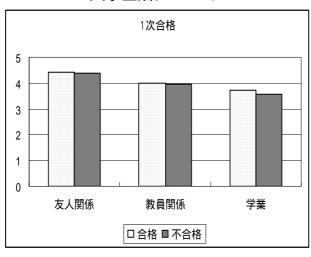
図B 性格(1次合格)

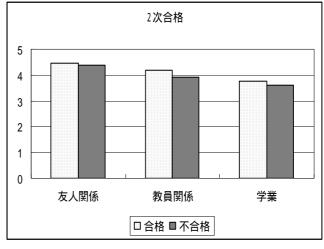
図 B 性格(2次合格)

性格については、「調和性」、「外向性」、「開放性」の順に多かった。したがって、教員 志望の学生は概して「調和性」と「外向性」をもった学生が多いといえる。

- 1 2次試験合格者は不合格者よりも性格の外向性得点が有意に高かった。

< C 大学生活について >



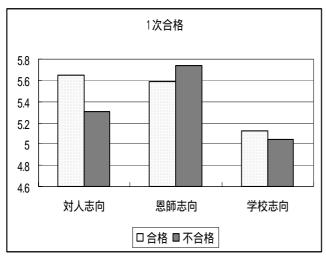


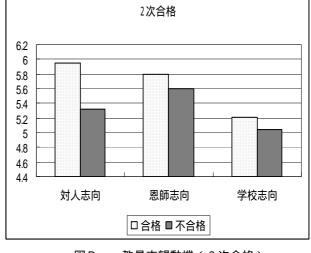
図C 大学生活(1次合格)

大学生活(2次合格) 図 C

大学生活については、「友人関係」、「教員関係」、「学業」の順に多かった。したがって、 教員志望の学生は概して友人関係が良好であるといえる。

< D 教員志望の動機について >





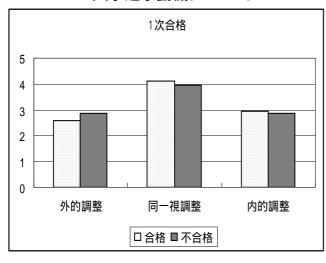
図D 教員志望動機(1次合格)

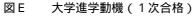
図D 教員志望動機(2次合格)

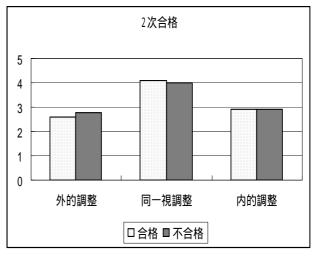
教員志望の動機は、「恩師志向」、「対人志向」、「学校志向」の順に多かった。したがって、教員志望の学生は恩師志向が強いといえる。

- 2 2 次試験合格者は不合格者よりも教員志望動機の対人志向の得点が有意に高かった。

< E 大学進学動機について >





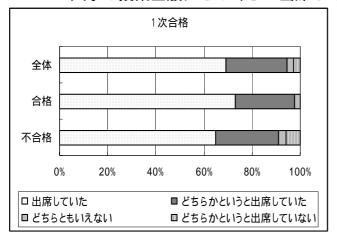


図E 大学進学動機(2次合格)

大学進学動機は、「同一視調整」、「内的調整」、「外的調整」の順に多かった。したがって、教員志望の学生は同一視調整が強いといえる。

< F 大学の授業全般について >

1.大学の授業全般にどのくらい出席していましたか。



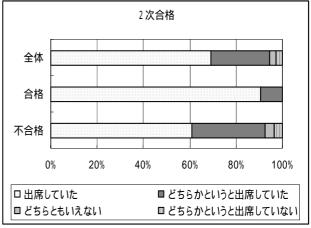


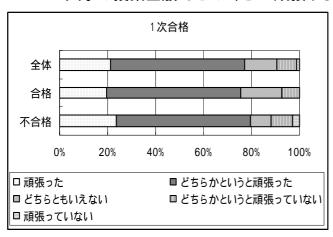
図 F-1 授業全般の出席状況(1次合格)

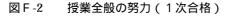
図 F-1 授業全般の出席状況(2次合格)

「出席していた」、「どちらかというと出席していた」と答えた学生は全体の9割を越えていた。したがって、教員志望の学生は概して大学の授業によく出席していたといえる。

- 3 2 次試験合格者のほうが不合格者よりも授業全般の出席状況の得点が有意に高かった。

2.大学の授業全般でどのくらい頑張りましたか。





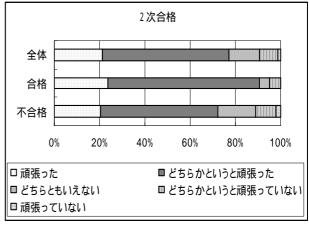
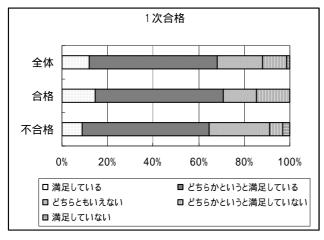


図 F-2 授業全般の努力(2次合格)

「頑張った」、「どちらかというと頑張った」と答えた学生は全体の約8割程度であった。したがって、教員志望の学生は概して大学の授業で努力していたといえる。

3. 大学の授業全般にどのくらい満足しましたか。



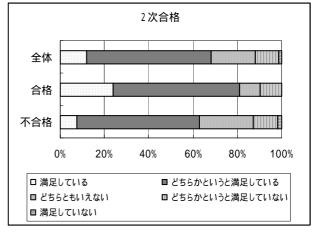


図 F-3 授業全般の満足(1次合格)

図 F-3 授業全般の満足(2次合格)

「満足している」、「どちらかというと満足している」と答えた学生は全体の約7割程度であった。したがって、教員志望の学生は概して大学の授業に満足しているといえる。

- 4 2 次試験合格者のほうが不合格者よりも授業全般の満足度の得点が有意に高い傾向があった。

4.最も思い出に残る授業はどの授業ですか。

表 F - 4 思い出に残る授業

総合的学習論 B 9 名 生活科研究 8 名 学校の危機管理を辿る 5名 初等家庭科教育法 4名 総合的学習論 A 4名 教育実習 4名 学級集団心理学 3名 英語科教育法 3名 フレンドシップ 3名 教職概論 2名 教育社会学 2名 教育法規入門 3名 授業研究 2名 初等音楽科教育法 2名 生活科授業研究 2名 英語科教育論 2名 家庭科教育法 2名 初等体育 2名 心理学実験・心理検査 2名 肢体不自由児指導法 2名 他

総合的学習論 B 9 名、生活科研究 8 名の順に多かった。したがって、教員志望の学生は概して体験的な学習を展開した授業が思い出に残っているといえる。

5. 教師になった際に役立つと思う授業はどの授業ですか。

表F-5 教師になって役立つ授業

生活科授業研究 9名 初等家庭科教育法 教育実習 9名 6名 授業実践論 6名 算数教育法 5名 教職の総合的研究 5名 初等体育教育法 4名 学級経営論 4名 家庭科教育法 4名 障害児教育方法論 3名 障害児教育指導論 3名 保育指導論 3名 フレンドシップ 3名 理科授業研究 3名 教育法規入門 2名 障害児の指導法 2名 授業研究 2名 保健体育科授業研究 . 2名 他

教育実習と生活科授業研究がいずれも9名と最も多かった。したがって、教員志望の 学生は概して現場に即して実践的な指導力が得られる授業が役に立つと感じている。

6.採用試験に役に立った授業はどの授業ですか。

表 F - 6 教員採用試験に役立つ授業

教育法規入門 5 0名 教職の総合的研究 2 5 名 授業実践論 2 名 教育実習 2 名 家族援助論 2 名 英語科教育法 児童心理学 障害児教育方法論 総合的学習論 A 代数学 フレンドシップ ボランティア活動 健康 算数教育法 肢体不自由児指導法 社会福祉原論 初等音楽 障害児教育指導論 身体表現教育法 幼児音楽 幼児造形教育法 幼児体育 各 1 名

教育法規入門50名、教職の総合的研究25名の順に多かった。したがって、教員志望の学生は概して教員採用試験の一次筆記試験に直接かかわる授業が役に立つと感じている。

< G 学校教育基礎研究の科目 >

表G-0 学校教育基礎研究に属する科目

学校教育心理学 障害児教育原論 教育哲学 学校教育入門 青年心理学 児童心理学 幼児心理学 学級集団心理学 教育経営学 教育社会学 教育評価学 学習援助論 教育工学 障害児教育方法論 教職概論 学校教育課程論 特別支援教育原論 障害児教育行財政論 他

1.学校教育基礎研究の科目にどのくらい出席していましたか。

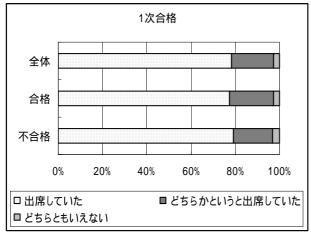


図 G-1 学校教育基礎研究出席状況(1次合格)

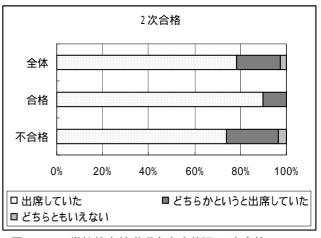
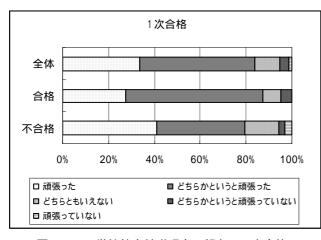


図 G-1 学校教育基礎研究出席状況(2次合格)

「出席していた」,「どちらかというと出席していた」と答えた学生が 100%に近かった。 したがって,教員志望の学生は,学校基礎研究の科目にほぼ出席しているといえる。

2. 学校教育基礎研究の科目でどのくらい頑張りましたか。



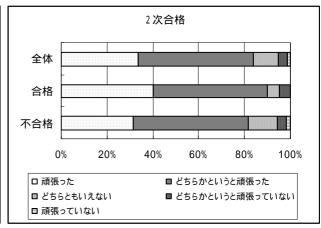
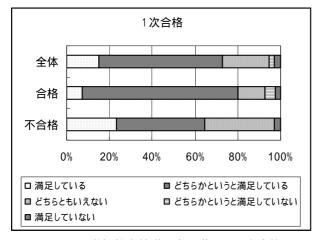


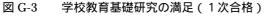
図 G-2 学校教育基礎研究の努力(1次合格)

図 G-2 学校教育基礎研究の努力(2次合格)

「頑張った」「どちらかというと頑張った」と答えた学生は全体の9割以上いた。したがって,教員志望の学生は,学校基礎研究の科目には意欲的に参加しているといえる。

3. 学校教育基礎研究の科目にどのくらい満足しましたか。





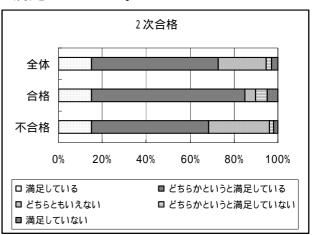


図 G-3 学校教育基礎研究の満足(2次合格)

「満足している」「どちらかというと満足はている」と答えた学生は全体の約7割程度である。したがって,教員志望の学生は概して学校基礎研究の科目に満足しているといえる。

< H 学校教育実践研究の科目 >

表 H - 0 学校教育実践研究に属する科目

初等家庭 初等理科 初等社会 初等国語 算数科研究 生活科研究 初等体育 ・ 初等音楽 ・ 図画工作 ・ 初等社会教育法 初等体育教育法 初等家庭科教育法 初等音楽科教育法 初等国語教育法 初等理科教育法 図画工作教育法 算数教育法 生活科教育法 特別活動論生徒指導論 A.B 道徳教育論 学校教育相談学 A.B 教育実践演習 A 障害児教育史 障害児・者福祉 障害児教育指導論 障害児教育課程論児童・思春期精神医学 精神遅滞児の医学 幼児音楽 幼児図画工作 健康幼児体育 人間関係 幼児音楽教育法 幼児造形教育法 教育実習 他

1.学校教育実践研究の科目にどのくらい出席していましたか。

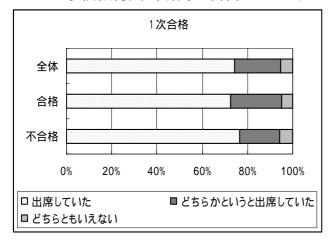


図 H-1 学校教育実践研究出席状況(1次合格)

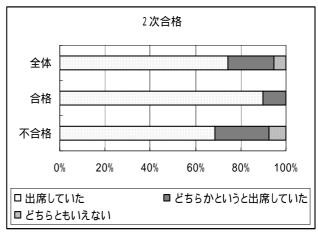
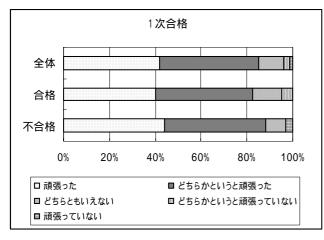


図 H-1 学校教育実践研究出席状況(2次合格)

「出席していた」どちらかというと出席していた」と答えた学生は全体の9割以上いた。 したがって,教員志望の学生は学校教育実践研究の科目にほぼ出席しているといえる。

- 5 2 次試験合格者のほうが不合格者よりも学校教育実践研究の科目の出席状況の得点が有意に高い傾向があった。

2. 学校教育実践研究の科目でどのくらい頑張りましたか。



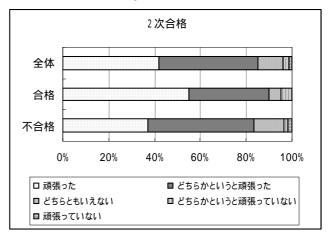


図 H-2 学校教育実践研究の努力(1次合格)

図 H-2 学校教育実践研究の努力(2次合格)

「頑張った」「どちらかというと頑張った」と答えた学生は全体の約8割以上いた。したがって,教員志望の学生は概して学校教育実践研究の科目に意欲的に参加しているといえる。

3. 学校教育実践研究の科目にどのくらい満足しましたか。

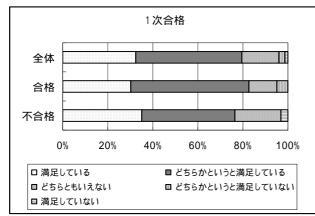


図 H-3 学校教育実践研究の満足(1次合格)

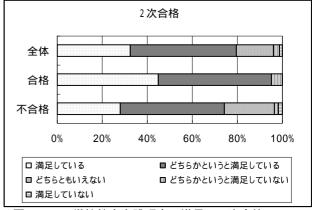


図 H-3 学校教育実践研究の満足(2次合格)

「満足している」「どちらかというと満足はている」と答えた学生は全体の約8割程度である。したがって,教員志望の学生は概して学校教育実践研究の科目に満足しているといえる。

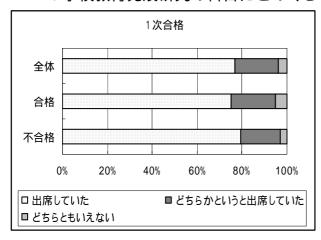
- 6 2 次試験合格者のほうが不合格者よりも学校教育実践研究の科目の満足度の得点が有意に高い傾向があった。

< I 学校教育発展研究の科目 >

表 I - 0 学校教育発展研究に属する科目

介護実践演習 学習指導と学校図書館 読書と豊かな人間性情報が、77の活用 学校図書館が、77の構成 学校経営と学校図書館教育法規入門 歴史環境論 教育実践基礎演習 総合的学習論 A・B数学実践演習 数学入門 心理検査 ・ 心理学実験 ・ 授業実践論 A・B 英語科授業研究 英語科内容学演習 L L 演習家族福祉論 理科教育学 調理学実習 ・ 家庭科授業研究 ・ 児童文化 基礎運動 ・ 球技 A 保健体育科教育論 同和教育学級経営論 比較教育学 歌唱法基礎 卒業研究 他

1.学校教育発展研究の科目にどのくらい出席していましたか。





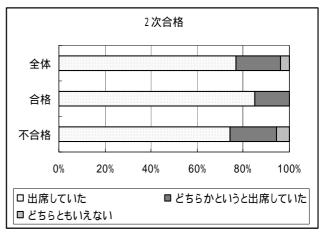


図 I-1 学校教育発展研究出席状況(2次合格)

「出席していた」どちらかというと出席していた」と答えた学生は全体の9割以上いた。 したがって,教員志望の学生は学校教育発展研究の科目にほぼ出席しているといえる。

2. 学校教育発展研究の科目でどのくらい頑張りましたか。

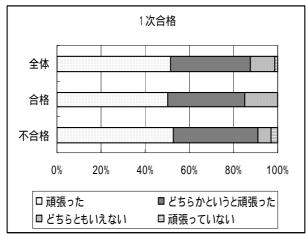


図 I-2 学校教育発展研究の努力(1次合格)

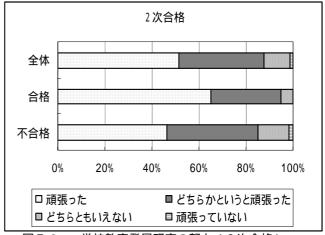


図 I-2 学校教育発展研究の努力(2次合格)

「頑張った」「どちらかというと頑張った」と答えた学生は全体の約8割以上いた。したがって,教員志望の学生は概して学校教育発展研究の科目に意欲的に参加しているといえる。

3. 学校教育発展研究の科目にどのくらい満足しましたか。

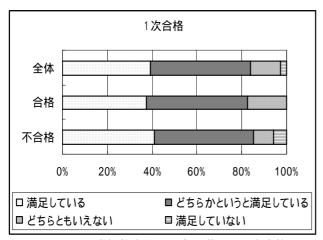


図 I-3 学校教育発展研究の満足(1次合格)

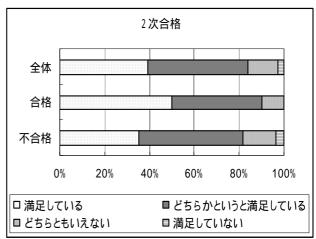


図 I-3 学校教育発展研究の満足(2次合格)

「満足している」「どちらかというと満足はている」と答えた学生は全体の約8割程度である。したがって,教員志望の学生は概して学校教育発展研究の科目に満足しているといえる。

< J 教育実習について >

1.3年次教育実習先

表 J - 1 3年次教育実習先

26名	 附属坂出小学校	2 1 名	
15夕	附属长出中学校	_ 11 夕	
	110.00 5	· · -	
10名		1名	
1名	市立桜町中学校	1名	
	15名 10名	1 5 名 附属坂出中学校 1 0 名 高松附属幼稚園	15名 附属坂出中学校 11名 10名 高松附属幼稚園 1名

3年次教育実習先は,小学校47名,中学校21名,特別支援学校15名の順に多かった。 教員志望の学生は,小学校主免の学生が多いといえる。

2.3年次の教育実習でどのくらい頑張りましたか。

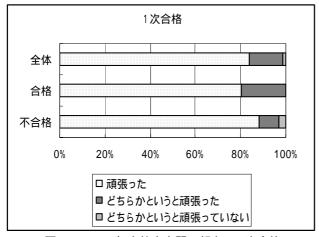


図 J-2 3年次教育実習の努力(1次合格)

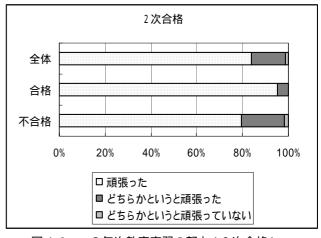
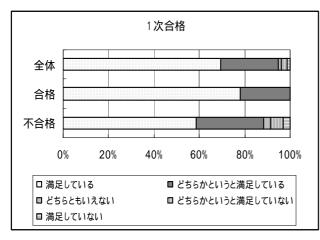


図 J-2 3年次教育実習の努力(2次合格)

「頑張った」「どちらかというと頑張った」と答えた学生はほぼ 100%に近かった。したがって,教員志望の学生は3年次の教育実習に意欲的に参加しているといえる。

3.3年次の教育実習にどのくらい満足しましたか。



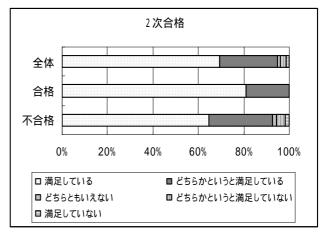


図 J-3 3年次教育実習の満足(1次合格)

図 J-3 3年次教育実習の満足(2次合格)

「満足している」「どちらかというと満足している」と答えた学生が約9割いた。したがって,教員志望の学生は概して3年次の教育実習に満足しているといえる。

- 1 1次合格者のほうが不合格者よりも満足度の得点が有意に高かった。

4.4年次教育実習先

表 J - 4 4年次教育実習先

———— 特別支援学校	2 3 名	附属坂出中学校 2	0名	
附属高松小学校	14名	附属高松中学校 1	4名	
坂出幼稚園	9名	附属坂出小学校	8名	
高松園舎	2名	坂出市立中央小学校	2名	

4年次教育実習先は,中学校34名,特別支援学校23名,小学校22名の順に多かった。 教員志望の学生は,中学校副免の学生が多いといえる。

5.4年次の教育実習でどのくらい頑張りましたか。

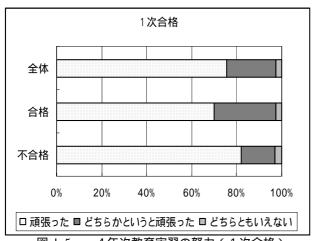


図 J-5 4年次教育実習の努力(1次合格)

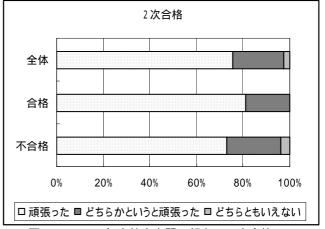


図 J-5 4年次教育実習の努力(2次合格)

「頑張った」「どちらかというと頑張った」と答えた学生は 9 割以上いた。したがって , 教員志望の学生は概して 4 年次の教育実習に意欲的に参加しているといえる。

6.4年次の教育実習にどのくらい満足しましたか。

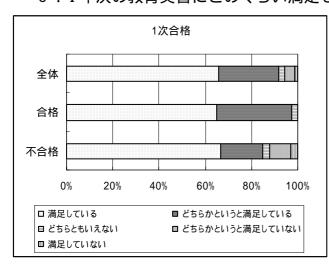


図 J-6 4年次教育実習の満足(1次合格)

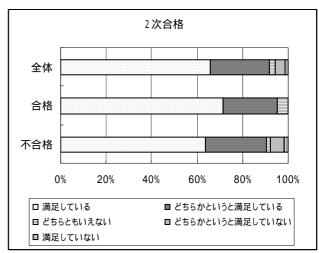
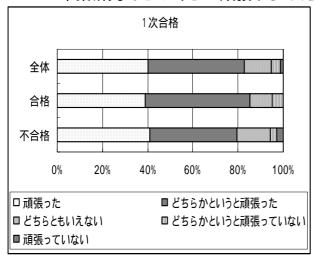


図 J-6 4年次教育実習の満足(2次合格)

「満足している」「どちらかというと満足している」と答えた学生が約9割いた。したがって,教員志望の学生は概して4年次の教育実習に満足しているといえる。

< K 卒業研究について >

1.卒業研究でどのくらい頑張りましたか。



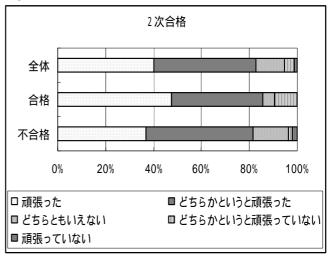


図 K-1 卒業研究の努力(1次合格)

図 K-1 卒業研究の努力(2次合格)

「頑張った」「どちらかというと頑張った」と答えた学生は全体の約8割程度いた。したがって,教員志望の学生は概して卒業研究に満足しているといえる。

2.卒業研究にどのくらい満足しましたか。

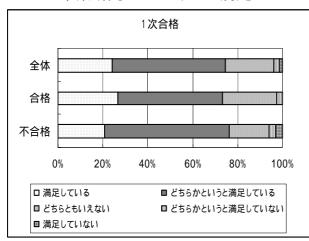


図 K-1 卒業研究の満足(1次合格)

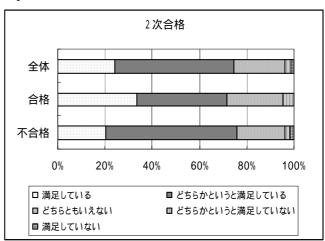
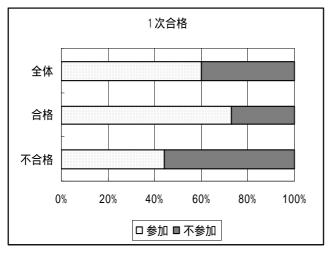


図 K-2 卒業研究の満足(2次合格)

「満足している」「どちらかというと満足している」と答えた学生が約7割いた。したがって,教員志望の学生は概して卒業研究に満足しているといえる。

- < L 教職自主サークルへの参加について >
- 1.教職自主サークルに参加しましたか。



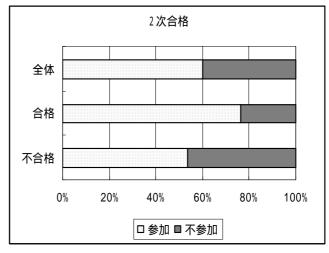


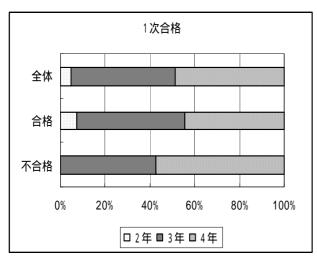
図 L-1 教職自主サークル参加状況(1次合格)

図 L-1 教職自主サークル参加状況(2次合格)

「参加した」と答えた学生は、全体の6割程度であった。うち、合格者は1次、2次と も不参加学生よりも20ポイント以上高かった。

- 2 1次試験合格者は教職自主サークルに参加している割合が有意に高かった。

2. 自主サークルは何年生で参加しましたか。



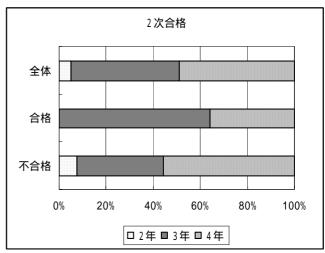
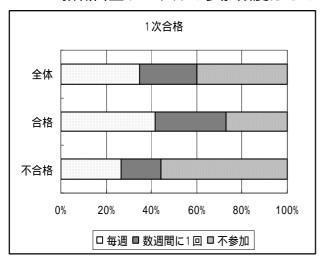


図 L-2 教職自主サークル参加学年(1次合格)

図 L-2 教職自主サークル参加学年(2次合格)

「4年から参加した」と答えた学生は全体の5割程度であり、「2年から参加した」と答えた学生も1割弱いた。教員志望の意識を高くもち、早い時期から参加しているといえる。

3. 教職自主サークルの参加頻度はどのくらいですか。



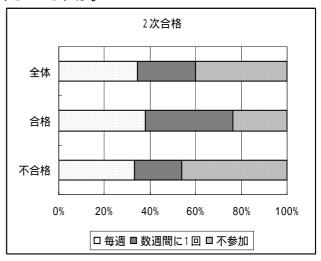
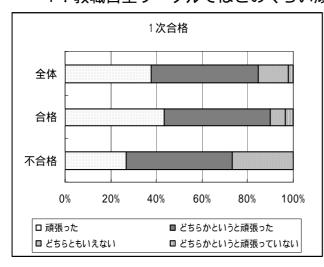


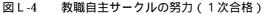
図 L-3 教職自主サークル参加頻度(1次合格)

図 L-3 教職自主サークル参加頻度(2次合格)

「毎週参加している」と答えた学生は全体の4割弱であった。教員志望の学生は、努めて多く参加しようとしていることがいえる。

4. 教職自主サークルではどのくらい頑張りましたか。





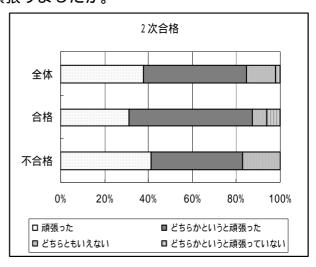
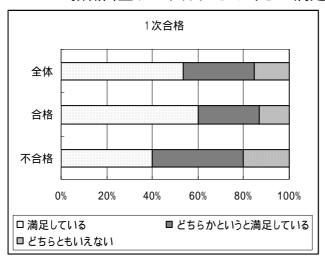


図 L-4 教職自主サークルの努力(2次合格)

「頑張った」「どちらかというと頑張った」と答えた学生は、全体の8割を超えている。 したがって、教員志望の学生は概して採用試験に向けて努力を続けていたといえる。

5. 教職自主サークルにどのくらい満足していますか。



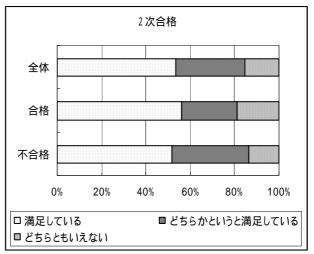


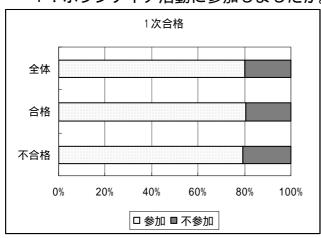
図 L-5 教職自主サークルの満足(1次合格)

図 L-5 教職自主サークルの満足(2次合格)

「満足している」「どちらかというと満足している」と答えた学生は、全体の9割を超えている。したがって、教員志望の学生は概して自主サークルの活動に満足しているといえる。

< M ボランティア活動への参加について >

1.ボランティア活動に参加しましたか。



2次合格
全体
合格
不合格

0% 20% 40% 60% 80% 100%
□参加 ■不参加

図M-1 ボランティア活動の参加(1次合格)

図M-1 ボランティア活動の参加(2次合格)

参加している学生は、全体の約8割であった。したがって、教員志望の学生は、概して ボランティア活動には積極的であるといえる。

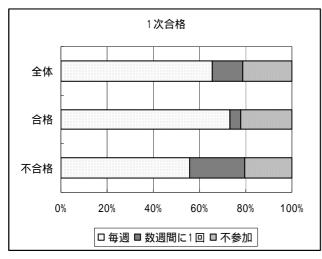
2.ボランティア活動参加施設

表M-2 ボランティア活動参加活動名・施設名

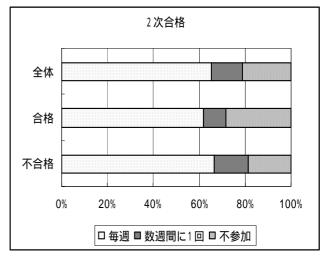
学生ボランティア40名ちびっこ教室9名特別支援関係支援員5名めだか教室2名おひさま教室2名読み聞かせ2名田村隣保児童館2名アイアイ1名NICE1名あすみ(パン屋)小規模作業所1名余島野外活動センター1名SST教室1名虹の部屋1名児童文化研究会1名ひつじ雲の会1名他

教員志望の学生は、学生ボランティアが40名と最も多く、また、ちびっこ教室や虹の 部屋など、子どもと接する施設での活動が多い。したがって、子どもと関わろうする意識 が高いといえる。

3.ボランティア活動はどのくらいの頻度で参加しましたか。



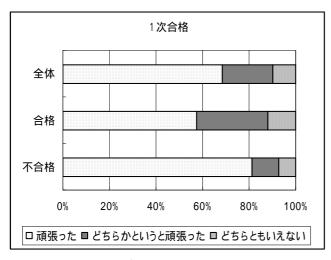
図M-3 ボランティア活動の参加頻度(1次合格)



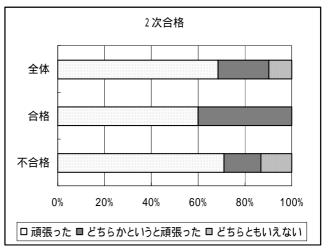
図M-3 ボランティア活動の参加頻度(2次合格)

「毎週参加した」と答えた学生は、全体の6割を超えている。したがって、教員志望の 学生は、継続的に活動に参加していたといえる。

4.ボランティア活動ではどのくらい頑張りましたか。



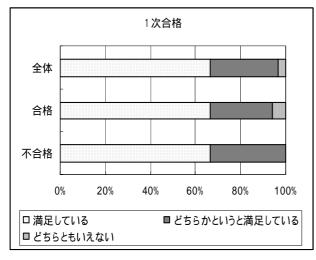
図M-4 ボランティア活動の努力(1次合格)



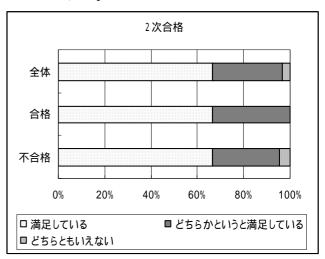
図M-4 ボランティア活動の努力(2次合格)

「頑張った」「どちらかというと頑張った」と答えた学生は、全体の7割程度である。したがって、教員志望の学生は概してボランティア活動に努力を続けていたといえる。

5.ボランティア活動にどのくらい満足していますか。



図M-5 ポランティア活動の満足(1次合格)

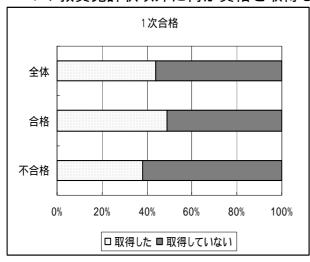


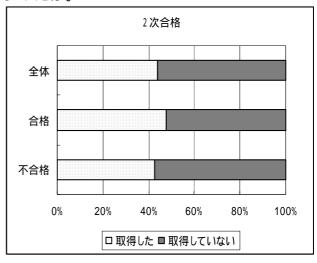
図M-5 ボランティア活動の満足(2次合格)

ほとんどの学生が「満足している」「どちらかというと満足している」と答えている。したがって、教員志望の学生は概してボランティア活動に満足しているといえる。

< N 教員免許状以外の資格取得状況 >

1. 教員免許状以外に何か資格を取得しましたか。





図N-1 教員免許以外の資格取得状況(1次合格) 図N-1 教員免許以外の資格取得状況(2次合格)

「取得した」と答えた学生は、全体の約4割程度であった。したがって、教員志望の学生は、概して他の資格取得については、特に希望していないといえる。

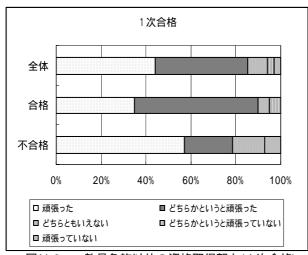
2.取得資格名

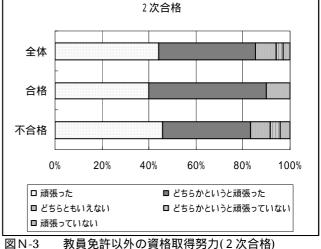
表N-2 取得資格名

学校図書館司書教諭	3 2 名	博物館学芸員	7名
保育士資格	2名	司書	1名
英検、漢字検定	1名	秘書技能検定2級	1名
Microsoft office specia	alist 2003 1名	G 色彩検定2級	1名

取得した資格については、学校図書館司書教諭32名、博物館学芸員7名と多かった。 教員志望の学生は、学校教育にも生かせる資格を取得しているといえる。

3. 資格取得のためにどのくらい頑張りましたか。



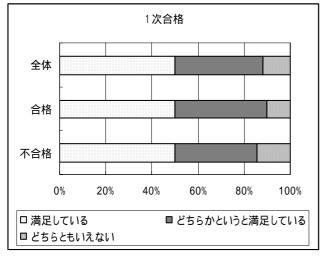


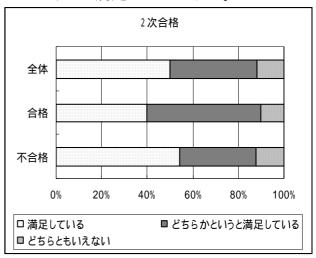
図N-3 教員免許以外の資格取得努力(1次合格)

教員免許以外の資格取得努力(2次合格)

「頑張った」「どちらかというと頑張った」と答えた学生は、全体の8割を超えている。 したがって、教員志望の学生は概して資格取得に努力を続けていたといえる。

4. 教員免許以外の資格を取得したことにどのくらい満足していますか。



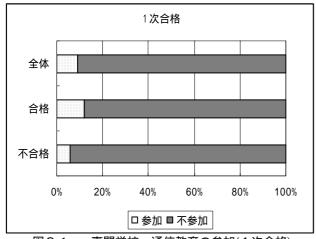


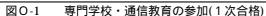
図N-4 図N-4 教員免許以外の資格取得満足(1次合格) 教員免許以外の資格取得満足(2次合格)

「満足している」「どちらかというと満足している」と答えた学生は、全体の約9割程度 であった。したがって、教員志望の学生は概してボ資格取得に満足しているといえる。

< O 教員採用試験に向けての専門学校や通信教育について >

1. 教員採用試験に向けての専門学校や通信教育での勉強状況





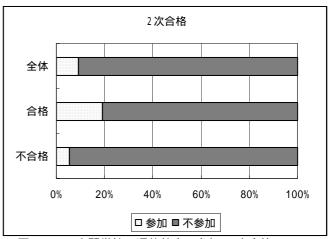


図0-1 専門学校・通信教育の参加(2次合格)

教員採用試験に向けて専門学校や通信教育を受けている者は、全体の1割弱である。2 次合格者の中での占める割合は2割弱である。

2. 教員採用試験に向けての専門学校や通信教育での努力

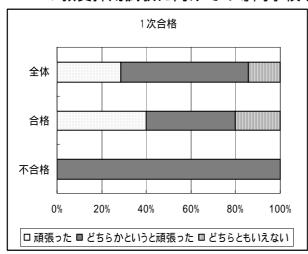


図0-2 専門学校・通信教育の努力(1次合格)

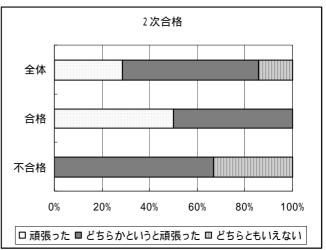
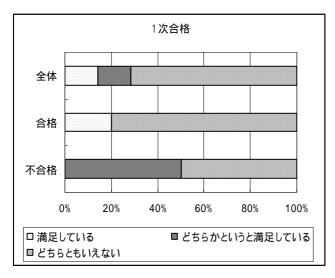


図 0-2 専門学校・通信教育の努力(2次合格)

1次においても、2次においても、合格者の中で頑張ったと回答しているのは5割未満 である。

3. 教員採用試験に向けての専門学校や通信教育での満足度



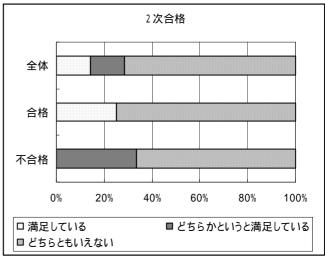


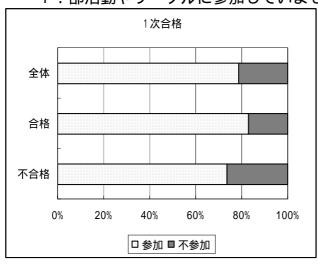
図 0-3 専門学校・通信教育の満足(1次合格)

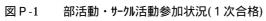
図 0-3 専門学校・通信教育の満足(2次合格)

全体における満足度は3割程度である。

< P 大学での部活動・サークル活動について >

1. 部活動やサークルに参加していましたか。





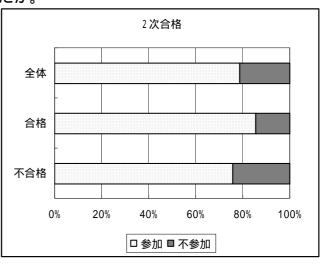


図 P-1 部活動・サークル活動参加状況(2次合格)

全体において部活動やサークルに参加している学生は8割弱である。

2. どのような部活動やサークルに参加していましたか。

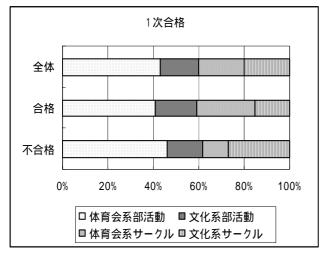


図 P-2 部活動・サークル活動参加種別(1次合格)

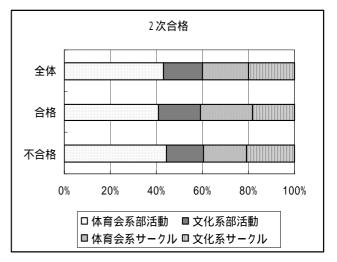


図 P-2 部活動・サークル活動参加種別(2次合格)

全体に体育会系部活動に参加している割合が一番高い(4割)。1次合格者においてやや 体育会系サークルの占める割合が増加している。

3. 部活やサークルにどのくらいの頻度で参加していましたか。

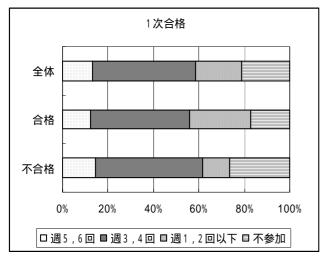


図 P-3 部活動・サークル活動参加頻度(1次合格)

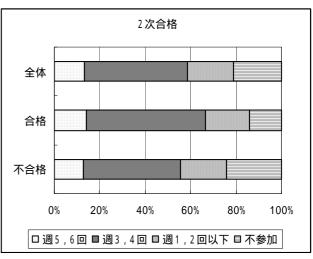
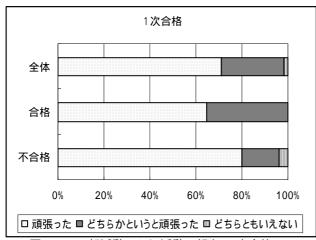
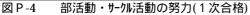


図 P-3 部活動・サークル活動参加頻度(2次合格)

全体に週3・4回の参加者が一番多い。

4. 部活動やサークル活動ではどのくらい頑張りましたか。





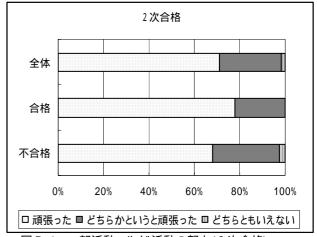


図 P-4 部活動・サークル活動の努力(2次合格)

1次合格者では、「頑張った」学生の比率が低下し、2次合格者においては、「頑張った」 学生の比率が高くなっている。

5. 大学での部活動やサークル活動にどのくらい満足していますか。

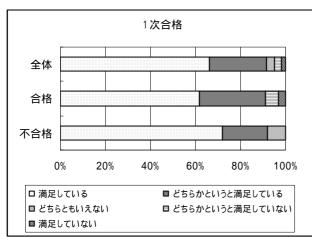


図 P-5 部活動・サークル活動の満足(1次合格)

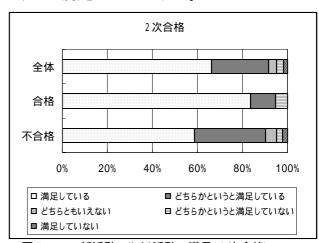
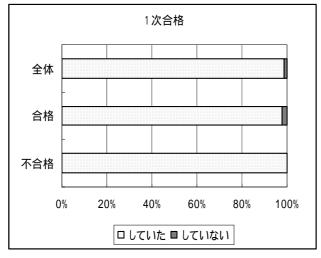


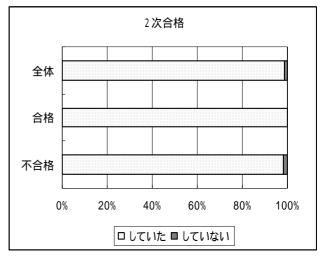
図 P-5 部活動・サークル活動の満足(2次合格)

全体に部活動に満足している割合は6割強である。2次合格者においては、「満足している」学生の比率が向上している。

< Q アルバイトの経験について >

1.アルバイトはしていましたか。





図Q-1 アルバイトの経験(1次合格)

図Q-1 アルバイトの経験(2次合格)

ほぼすべての学生がアルバイトに従事している。

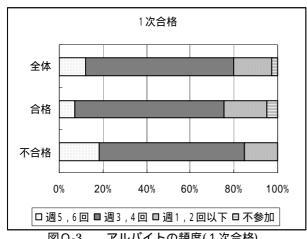
2.経験したアルバイト名

表Q-2 経験アルバイト内容

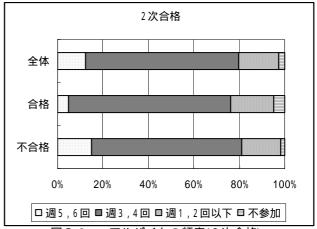
飲食業 58名(34.9%) 塾他講師 50名(30.1%) 販売員 18名(10.8%) 幼稚園・保育園・学童保育7名(4.2%) テレフォンオペレーター 7名(4.2%) コンビニ 5名(3.0%) スーパー5名(3.0%) 図書館 2名(1.2%) 事務職 2名(1.2%) その他 12名(7.2%)

アルバイトで飲食業に従事している者の割合は、約35%を占める。塾他講師より高い。

3.どのくらいの頻度でアルバイトをしていましたか。



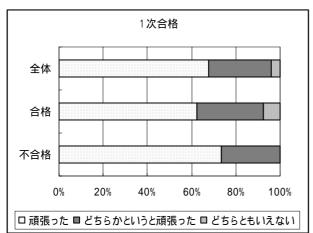
アルバイトの頻度(1次合格)



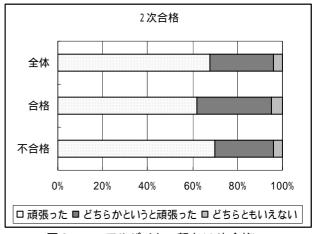
図Q-3 アルバイトの頻度(2次合格)

全体に週3,4回のアルバイト頻度が一番高い。週5,6回アルバイトに従事する学生は、 不合格者に占める割合が高くなっている。

4.アルバイトではどのくらい頑張りましたか。



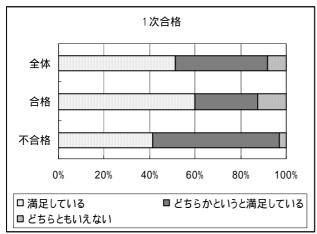
アルバイトの努力(1次合格) 図Q-4

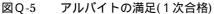


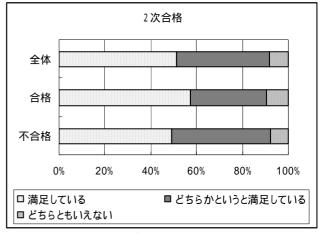
アルバイトの努力(2次合格) 図Q-4

全体に「アルバイトに頑張った」という学生は、6割強であり、不合格者に占める割合 が高くなっている。

5. アルバイトにどのくらい満足していますか。







図Q-5 アルバイトの満足(2次合格)

2次合格

全体に「満足している」と回答している学生は、5割程度である。合格者において占める割合が高くなっている。

全体

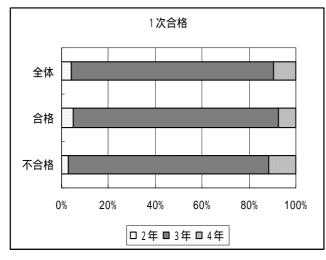
合格

不合格

0%

< R 教員採用試験への努力について >

1.いつくらいから教員採用試験用の情報収集をはじめましたか。



□2年■3年□4年

40%

80%

100%

60%

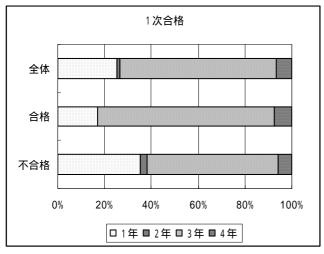
20%

図R-1 教採試験の情報収集開始学年(1次合格)

図R-1 教採試験の情報収集開始学年(2次合格)

教員志望の学生全体の約9割が3年次から教員採用試験用の情報収集をはじめていることがわかった。

2. いつくらいに教員採用試験を受ける決断をしましたか。



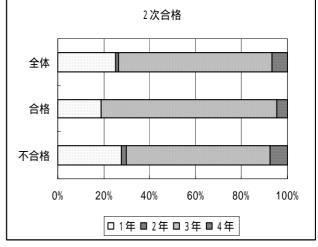
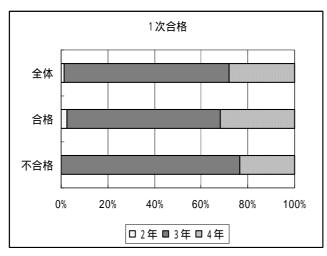


図 R-2 教採試験の受験決断学年(1次合格)

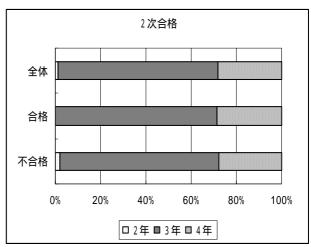
図R-2 教採試験の受験決断学年(2次合格)

約2割の学生が1年次に、約6割の学生が3年次に教員採用試験を受験する決断をしていることがわかった。また2年次での決断が少ないこともわかった。したがって、入学当初の1年次や教育実習年次である3年次が学生にとっての決断期になっているといえる。

3. いつくらいから教員採用試験の勉強を始めましたか。



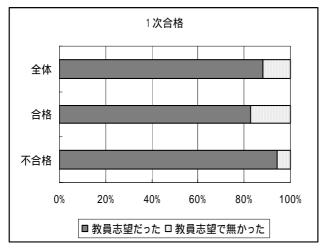


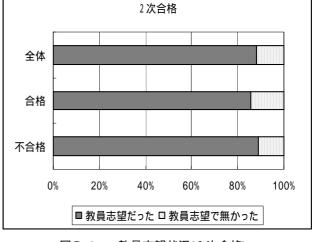


図R-3 教採試験の勉強開始学年(2次合格)

約7割の学生が3年次から、約3割の学生が4年次から教員採用試験の勉強をはじめていることがわかった。したがって、概ね3年次から本格的に勉強をはじめているといえる。

4. もともと教師志望でしたか?



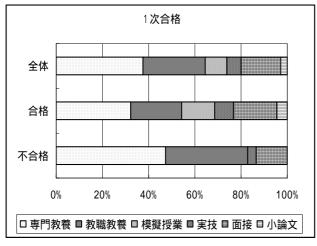


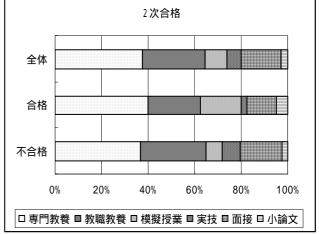
図R-4 教員志望状況(1次合格)

図R-4 教員志望状況(2次合格)

回答者のうち約9割の学生が教員志望であった。

5. 教員採用試験の勉強では何に力を入れて勉強しましたか?



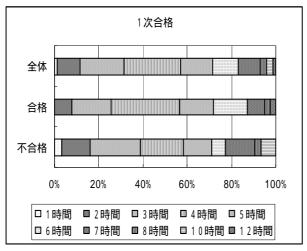


図R-5 教採試験の重視勉強内容(1次合格)

図R-5 教採試験の重視勉強内容(2次合格)

「専門教養」や「教職教養」などの「教養科目」に6割強の学生が力を入れていた。したがって、教員採用試験勉強において、学生はとりわけ教養を重視しているといえる。

6.4年生になって教員採用試験のために1日平均どのくらい勉強しましたか。



2次合格

全体
合格

O% 20% 40% 60% 80% 100%

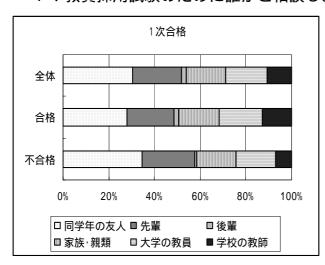
□ 1時間 ■ 2時間 ■ 3時間 ■ 4時間 ■ 5時間 ■ 6時間 ■ 7時間 ■ 8時間 ■ 10時間 ■ 12時間

図R-6 教採試験のための勉強時間(1次合格)

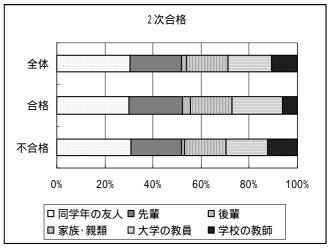
図R-6 教採試験のための勉強時間(2次合格)

勉強時間が1時間から7時間までの学生が9割程度であり、時間は学生によってさまざまであった。8時間以上勉強している学生が1割程度いることもわかった。

7. 教員採用試験のために誰かと相談しましたか。



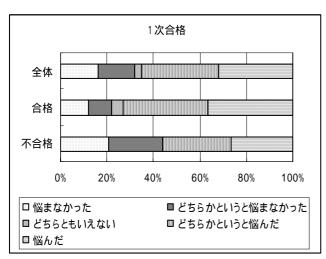


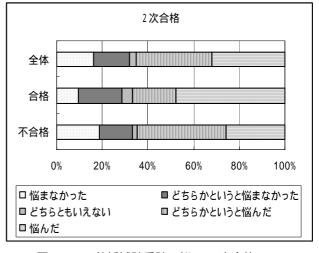


図R-7 教採試験の相談相手(2次合格)

「同学年の友人」や「先輩」への相談が5割程度であった。また「家族・親類」や「大学の教員」がそれぞれ2割であった。したがって、学生の相談相手は幅広いが、とりわけ身近な同世代へ相談することが多いといえる。

8. 教員採用試験を受けるにあたってどの程度悩んだか





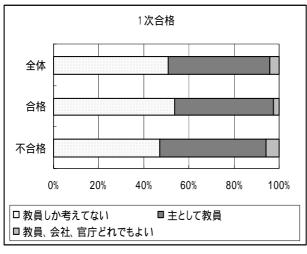
図R-8 教採試験受験の悩み(1次合格)

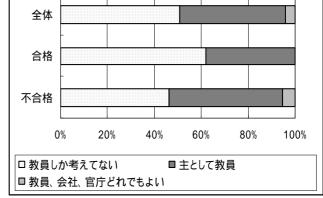
図 R-8 教採試験受験の悩み(2次合格)

「悩んだ」、「どちらかというと悩んだ」と答えた学生は6割強であった。したがって、 学生は概ね教員採用試験受験に悩んでいるといえる。

- 3 1 次試験合格者のほうが不合格者よりも教員採用試験にあたっての悩みの得点が有意に高い傾向があった。

9. 教員採用試験を受けるにあたって、どの程度教員になりたいですか。





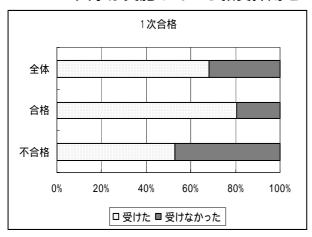
2次合格

図R-9 教員志望状況(1次合格)

図R-9 教員志望状況(2次合格)

「教員しか考えていない」が5割程度、「主として教員」が5割弱であった。したがって、 教員志望が強い学生が多いといえる。

10.大学が実施している教員採用セミナーは受けましたか。



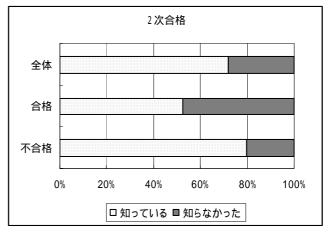


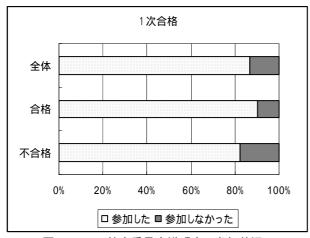
図 R-10 大学実施教採セミナー参加状況 (1次合格)

図 R-10 大学実施教採セミナー参加状況 (2次合格)

「受けた」が7割程度であった。したがって、教員志望の学生は概ね参加しているといえる。

- 4 1 次試験合格者は大学が実施している教員採用セミナーを受けている割合が有意 に高かった。

11. 各県の教育委員会の説明会に参加しましたか。





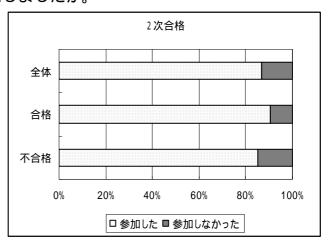


図 R-11 教育委員会説明会の参加状況 (2次合格)

「参加した」学生が8割強であった。したがって、教員志望の学生は他都道府県での教員採用試験受験をも視野に入れているといえる。

12.大学が掲示している各県の教員の募集状況を知っていますか。

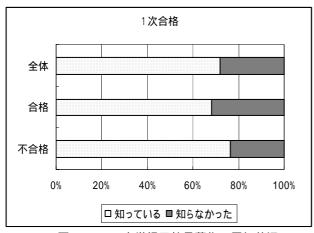


図 R-12 大学掲示教員募集の周知状況 (1次合格)

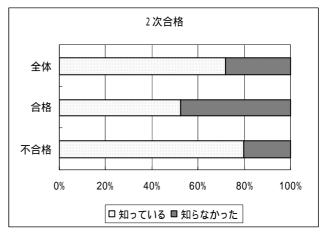


図 R-12 大学掲示教員募集の周知状況 (2次合格)

「知っている」学生が7割程度であった。したがって、教員志望の学生は全国的な動向 や情報を押さえようとしているといえる。

- 7 2 次試験合格者は各県の教員の募集状況を知らない割合が有意に高かった。

13. 教員採用試験のために就職支援室を利用しましたか。

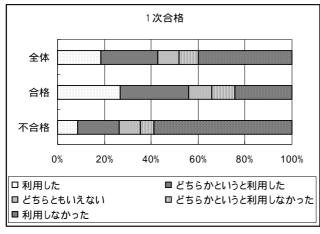


図 R-13 就職支援室利用状況(1次合格)

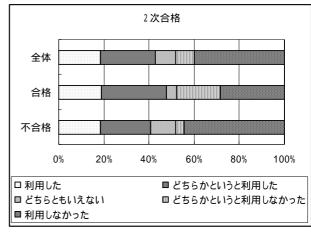
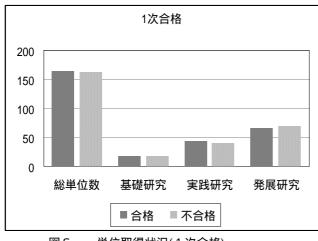


図 R-13 就職支援室利用状況(2次合格)

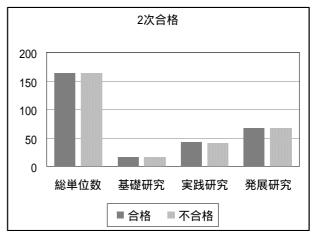
「利用した」や「どちらかというと利用した」学生が4割程度であり、「利用しなかった」や「どちらかというと利用しなかった」学生は5割程度であった。したがって、教員志望の約2人に1人が就職支援室を利用しているといえる。

- 5 1 次試験合格者のほうが不合格者よりも就職支援室の利用状況の得点が有意に高かった。

< S 取得単位数について >





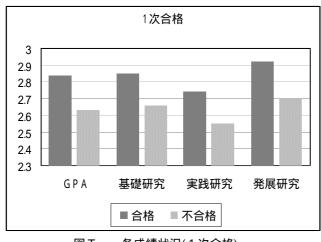


図S 単位取得状況(2次合格)

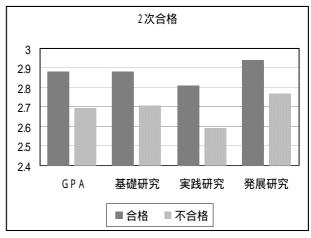
単位については約 160 単位を取得していることから、教職志望の学生は卒業用件以上の 単位を取得しているといえる。

- 6 1 次試験合格者のほうが不合格者よりも学校教育実践研究の科目の取得単位数が 有意に多かった。

< T 成績について >







図T 各成績状況(2次合格)

成績については実践研究、基礎研究、発展研究の順に高かった。したがって、教職志望の学生は発展研究の成績が良いといえる。

- 7 1次合格者のほうが不合格者よりも授業全般の成績の平均が有意に高かった。
- 8 1 次試験合格者のほうが不合格者よりも学校教育基礎研究の成績の平均が有意に 高い傾向があった。
- 9 1 次試験合格者のほうが不合格者よりも学校教育実践研究の成績の平均が有意に 高かった。
- 10 1 次試験合格者のほうが不合格者よりも学校教育発展研究の成績の平均が有意に 高かった。
- 8 2 次試験合格者のほうが不合格者よりも授業全般の成績の平均が有意に高かった。
- 9 2 次試験合格者のほうが不合格者よりも学校教育実践研究の成績の平均が有意に 高かった。
- 10 2 次試験合格者のほうが不合格者よりも学校教育発展研究の成績の平均が有意に 高い傾向があった。

5 考察

本調査の結果、1 次試験合格者と 2 次試験合格者の特徴として明らかになったことは以下のとおりである。

1次試験合格者の特徴

- 1 1次合格者は、3年次の教育実習の満足度が高い。

1次合格者のほうが不合格者よりも満足度の得点が有意に高かった。したがって、3年次の教育実習において満足することは1次試験合格のモチベーションになると考えられる。

- 2 1次合格者は、教職自主サークルに参加している割合が高い。

1 次試験合格者は教職自主サークルに参加している割合が有意に高かった。したがって、 教職自主サークルは 1 次試験合格の一助となっていると考えられる。また、教職自主サークルに積極的に参加することはモチベーションの現われとも考えられる。

- 3 1次合格者は、教員採用試験を受けるにあたって悩んでいる。

1 次試験合格者のほうが不合格者よりも教員採用試験にあたっての悩みの得点が有意に高い傾向があった。したがって、教員になるかどうか悩まずに受験するよりもしっかり教員になるかどうか悩むことが重要だと考えられる。

- 4 1次合格者は、教員採用セミナーを受けている割合が高い。

1 次試験合格者は大学が実施している教員採用セミナーを受けている割合が有意に高かった。したがって、大学が実施している教員採用セミナーは 1 次試験合格の一助となっていると考えられる。

- 5 1次合格者は、就職支援室を利用している。

1 次試験合格者のほうが不合格者よりも就職支援室の利用状況の得点が有意に高かった。 したがって、就職支援室は1次試験合格の一助となっていると考えられる。

- 6 1次合格者は、学校教育実践研究の科目の取得単位数が多い。

1 次試験合格者のほうが不合格者よりも学校教育実践研究の科目の取得単位数が有意に多かった。したがって、実践に関する科目を多くとることは 1 次試験合格にとって重要だと考えられる。

学校教育実践研究に属する科目は、表H - 0を参照。

- 7 1次合格者は、授業全般の成績が良い。

1次合格者のほうが不合格者よりも授業全般の成績の平均が有意に高かった。したがって、 大学の授業全般で良い成績を修めることは1次試験合格につながると考えられる。

- 8 1次合格者は、学校教育基礎研究の科目の成績が良い。

1 次試験合格者のほうが不合格者よりも学校教育基礎研究の成績の平均が有意に高い傾向があった。したがって、学校教育基礎研究の科目で良い成績を修めることは 1 次試験合格につながると考えられる。

学校教育基礎研究に属する科目は、表G - 0を参照。

- 9 1次合格者は、学校教育実践研究の科目の成績が良い。

1 次試験合格者のほうが不合格者よりも学校教育実践研究の成績の平均が有意に高かった。したがって、学校教育実践研究の科目で良い成績を修めることは 1 次試験合格につながると考えられる。

学校教育実践研究に属する科目は、表H - 0を参照。

- 10 1 次合格者は、学校教育発展研究の科目の成績が良い。

1 次試験合格者のほうが不合格者よりも学校教育発展研究の成績の平均が有意に高かった。したがって、学校教育発展研究の科目で良い成績を修めることは 1 次試験合格につながると考えられる。

学校教育発展研究に属する科目は、表 I - 0 を参照。

2 次試験合格者の特徴

- 1 2次合格者は、性格の外向性が高い。

2次試験合格者は不合格者よりも性格の外向性得点が有意に高かった。したがって、2次 試験で合格するには社交性など性格的な部分も必要であると考えられる。

- 2 2 次合格者は、教職志望動機の対人志向が高い。

2次試験合格者は不合格者よりも教員志望動機の対人志向の得点が有意に高かった。したがって、人と関わりたいという志向性から教員を志望する動機のほうが 2 次試験合格につながると考えられる。

- 3 2次合格者は、授業全般に出席している。

2次試験合格者のほうが不合格者よりも授業全般の出席状況の得点が有意に高かった。したがって、2次試験合格者は大学の授業全般にまじめに出席していると考えられる。こうしたまじめさが2次試験合格につながっているのかもしれない。

- 4 2次合格者は、授業全般に満足している。

2 次試験合格者のほうが不合格者よりも授業全般の満足度の得点が有意に高い傾向があった。したがって、2 次試験合格者は大学の授業に満足していると考えられる。

- 5 2次合格者は、学校教育実践研究の科目に出席している。

2 次試験合格者のほうが不合格者よりも学校教育実践研究の科目の出席状況の得点が有意に高い傾向があった。したがって、2 次試験合格者は、学校教育実践研究の科目にまじめに出席していると考えられる。また、2 次試験合格者は実践に関する科目を重視していると考えられる。

学校教育実践研究に属する科目は、表H‐0を参照。

- 6 2 次合格者は、学校教育実践研究の科目の満足度が高い。

2 次試験合格者のほうが不合格者よりも学校教育実践研究の科目の満足度の得点が有意 に高い傾向があった。したがって、2 次試験合格者は、学校教育実践研究の科目に満足して いると考えられる。

学校教育実践研究に属する科目は、表H - 0を参照。

- 7 2次合格者は、大学が掲示している各県の教員の募集状況を知らない割合が高い。

2次試験合格者は各県の教員の募集状況を知らない割合が有意に高かった。2次試験合格 には募集状況を知ることよりも教員になるための決意のほうが重要なのかもしれない。

- 8 2 次合格者は、授業全般の成績が良い。

2次試験合格者のほうが不合格者よりも授業全般の成績の平均が有意に高かった。したがって、大学の授業全般で良い成績を修めることは2次試験合格につながると考えられる。

- 9 2次合格者は、学校教育実践研究の科目の成績が良い。

2 次試験合格者のほうが不合格者よりも学校教育実践研究の成績の平均が有意に高かった。したがって、学校教育実践研究の科目で良い成績を修めることは 2 次試験合格につながると考えられる。

学校教育発展研究に属する科目は、表H - 0を参照。

- 10 2 次合格者は、学校教育発展研究の科目の成績が良い。

2 次試験合格者のほうが不合格者よりも学校教育発展研究の成績の平均が有意に高い傾向があった。したがって、学校教育発展研究の科目で良い成績を修めることは 2 次試験合格につながると考えられる。

学校教育発展研究に属する科目は、表 I - 0 を参照。

全体のまとめ

以上、1次合格者においては、10におよぶ特徴が明らかになった。このうち、有意差が 見られるのは、「 -1 1次合格者は、3年次の教育実習の満足度が高い。「 -2 1次 合格者は、教職自主サークルに参加している割合が高い」、「 - 4 1次合格者は、教員採 用セミナーを受けている割合が高い」、「 - 5 1次合格者は、就職支援室を利用している」、 「 - 6 1次合格者は、学校教育実践研究の科目の取得単位数が多い」、「 - 7 1次合 格者は、授業全般の成績が良い」、「 - 9 1次合格者は、学校教育実践研究の科目の成績 が良い」、「 -10 1次合格者は、学校教育発展研究の科目の成績が良い」の8項目、有意 傾向が見られるのは、「 - 3 1 次合格者は、教員採用試験を受けるにあたって悩んでい る」、「 -8 1次合格者は、学校教育基礎研究の科目の成績が良い」の2項目であった。 また、2次合格者においては、10におよぶ特徴が明らかになった。このうち、有意差が 見られるのは、「 - 1 2 次合格者は、性格の外向性が高い」、「 - 2 2 次合格者は、 教職志望動機の対人志向が高いょ「 ・3 2次合格者は、授業全般に出席している」、「 - 7 2 次合格者は、大学が掲示している各県の教員の募集状況を知らない割合が高い」 「 -8 2次合格者は、授業全般の成績が良い」、「 -9 2次合格者は、学校教育実践 研究の科目の成績が良い」の6項目、有意傾向が見られるのは、「 ‐4 2 次合格者は、 授業全般に満足している」「 - 5 2次合格者は、学校教育実践研究の科目に出席してい る」、「 -6 2次合格者は、学校教育実践研究の科目の満足度が高い」、「 -10 2次合 格者は、学校教育発展研究の科目の成績が良い」の4項目であった。

有意差あるいは有意傾向を示している、これら 20 の特徴をみると、1次合格者、2次合格者ともに、大学が提供している授業(教育実習を含む)やサービスに関する項目が特徴の大半を構成していることがわかる。1次合格者では、「 - 1 1 次合格者は、3 年次の教育実習の満足度が高い」、「 - 5 1次合格者は、就職支援室を利用している」、「 - 6 1次合格者は、学校教育実践研究の科目の取得単位数が多い」、「 - 7 1次合格者は、授業全般の成績が良い」、「 - 8 1 次合格者は、学校教育基礎研究の科目の成績が良い」、「 - 9 1次合格者は、学校教育実践研究の科目の成績が良い」、「 - 10 1次合格者は、学校教育発展研究の科目の成績が良い」の7項目、2次合格者では、「 - 3 2 次合格者は、授業全般に出席している」、「 - 4 2次合格者は、授業全般に満足している」、「 - 5 2次合格者は、学校教育実践研究の科目に出席している」、「 - 6 2次合格者は、学校教育実践研究の科目の出席している」、「 - 6 2次合格者は、学校教育実践研究の科目の満足度が高い」、「 - 8 2次合格者は、授業全般の成績が良い」、「 - 9 2次合格者は、学校教育実践研究の科目の成績が良い」、「 - 10 2次合格者は、学校教育発展研究の科目の成績が良い」の7項目であった。このことから、1次合格者、2次合格者ともに、大学が提供している授業(教育実習を含む)やサービスを活用した結果、合格していることがわかる。

これらの中でも、授業の成績に関する特徴が1次合格、2次合格ともに影響していることがわかる。1次合格者では、「 - 7 1 次合格者は、授業全般の成績が良い」、「 - 8 1次合格者は、学校教育基礎研究の科目の成績が良い」、「 - 9 1次合格者は、学校教育

実践研究の科目の成績が良い」、「 -10 1次合格者は、学校教育発展研究の科目の成績が良い」の4項目、2次合格者では、「 -8 2次合格者は、授業全般の成績が良い」、「 -9 2次合格者は、学校教育実践研究の科目の成績が良い」、「 -10 2次合格者は、学校教育発展研究の科目の成績が良い」の3項目において、「成績が良い」との特徴が1次合格、2次合格に影響していることが明らかとなった。このことから、大学の授業で成績が良いことと教員採用での合格には密接な関係があることがわかる。

さらに授業の中でも、1次合格者では、「 - 8 1 次合格者は、学校教育基礎研究の科目の成績が良い」、「 - 9 1次合格者は、学校教育実践研究の科目の成績が良い」、「 - 10 1次合格者は、学校教育発展研究の科目の成績が良い」という特徴から、学校教育基礎研究、学校教育実践研究、学校教育発展研究に区分される科目において成績が良いことと関係があること、2次合格者では、「 - 9 2 次合格者は、学校教育実践研究の科目の成績が良い」、「 - 10 2次合格者は、学校教育発展研究の科目の成績が良い」という特徴から、学校教育実践研究および学校教育発展研究に区分される科目において成績が良いことと関係があることが明らかとなった。このことから、学校教育基礎研究、学校教育実践研究、学校教育発展研究に区分される科目は、いずれもが教員採用試験の合格に影響を及ぼしていることがわかる。

これらの研究成果は、次年度以降の研究成果とあわせて、教育学部における教員養成の 改善方策を考える手がかりとなる。今後さらに詳細な分析を行う必要がある。

6.参考資料

アンケートのお願い

「教員の資質能力追跡調査事業」実施委員会

本日は、調査にご協力いただきありがとうございます。

このアンケート調査は、文部科学省の委託を受けた「教員の資質能力追跡調査事業」(追跡調査) (事業代表者:香川大学教育学部長・有馬道久)の一環として、香川大学教育学部に設置された 実施委員会(代表:香川大学教育学部教授・柳澤良明)のもとで行うものです。

今回ご協力いただくアンケート調査は、皆さんの気持ちや考えをお聞きするためのものであり、答えの成否を問うものではありません。そのため、今回の調査では個人が特定されるデータ処理は行いません。集められたアンケートの回答は統計的に処理され、集計後は必ずシュレッダーにかけて廃棄いたします。他の人に見られたり,知られたりすることも絶対にありません。データの分析については追跡調査事業事務室のみで行い、個人データを今後勤務することになる学校や教育委員会などに提供することもありません。したがいまして、皆さんの個人情報が漏れることはありませんので、安心して正直に思ったままをご記入下さい。

なお、調査結果は研究発表に用いるとともに、香川大学教育学部での今後の教育活動の改善・ 充実に活用させていただきます。ご協力のほど、何卒よろしくお願いいたします。

<問い合わせ先>

〒760-8522 高松市幸町1-1 香川大学教育学部内

追跡調査事業事務室(山下満子)

電話:087-832-1407

メイル: tsuiseki-jim@ed.kagawa-u.ac.jp

1. あなたの性別を教えて	〈ださい。該当する	にチェックをお	願いいたし	します。		
	男	性 女	性			
2. あなたの年齢を教えて	ください。					
	()	歳		
3.あなたの学籍番号を教	えてください。					
	学籍番号()			
4. あなたの所属している	研究室を教えてくださ	۶ ، ۱۵				
	()	研究室		
5. あなたの出身地を教え	てください。					
	()	県		
6. あなたの取得する免許	状を教えてください。	該当する に	チェックをる	お願いいた	します。	
幼稚園	学校 中学校	高校	特別支	菱援		
7. どのような入試で香川ス	大学に入学したのか	を教えてください	八?該当?	する にチュ	:ックをお 願いいた し	ます。
推薦前期	後期	編入学・そ	その他	()
8. 進路の希望を教えて〈た	どさい。該当する に	ニチェックをお願	いいたし	ます。		
教員(講師も含	む) 大学院進	学 その他	也の職業	()
9. どの校種の教員を目指	けていますか。 該当	する にチェッ	クしてくだっ	さい。		
小学校 中学校	高等学校	特別支援学	学校	幼稚園		
9. 教員採用試験の合否に	こついて教えてくださ	い?受けた県と	:該当する	にチェック	ったお願いいたしま?	5 .
()県		2 次も合格		み合格	1 次が不合格	
()県	結果 1 次も 2 結果 1 次も 2				1 次が不合格 1 次が不合格	
1次のみ合格だった方 9-1. どこの県で講師を希				ーエーック大・	シ節しい たします	
9-1. とこの宗で講師を布 香川県		こ、たらかして 設置	∃YV K	-ナェックをo)県	の傾いいだしまり。	

< A あなた自身のことについて >

< B 性格について >

4	質問文を読んで、自分に一番あてはまる数字に をつけてください 					
•	自可文を配がて、日力に一番のではある数子に をファイベルとい	全く		どちらとも	5	非常に
		そうでな	:11	いえない	1	そうだ
1	私は心配性ではない・・・・・・・・・・・・	1	2	3	4	5
2	大勢の人と一緒にいるのが好きだ・・・・・・・・・	1	2	3	4	5
3	空想にふけって時間を無駄にするのは好きではない・・・・・	1	2	3	4	5
4	私は誰にでも好意を持って接しようとする・・・・・・・	1	2	3	4	5
5	持ち物をきちんとし、きれいにしている・・・・・・・・	1	2	3	4	5
6	劣等感を持つことがよくある・・・・・・・・・・・・ /	1	2	3	4	5
7		1	2	3	4	5
8		1	2	3	4	5
9	家族や同僚とよく口論をする・・・・・・・・・・・	1	2	3	4	5
10	時間どおりに物事をやり終えるよう、自分のペースを守るのが得意だ・・	1	2	3	4	5
l			_	_		_
11	ストレスが多いと、自分が「めちゃくちゃ」になるように感じることがある	1	2	3	4	5
12	特にほがらかな人間ではない・・・・・・・・・・	1	2	3	4	5
13	芸術作品や自然の中で見つけたかたちに興味をひかれる・・・	1	2	3	4	5
14	私のことを自分勝手で自分のことしか考えていない人間だと思っている人がいる・・	1	2	3	4	5
15	几帳面ではない・・・・・・・・・・・・・・・・	1	2	3	4	5
16	さびしくなったり、憂うつになったりすることはめったにない	1	2	3	4	5
17	人と話すのがとても楽しい・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1	2	3	4	5
18	学生に対しては、いろいろな意見や考え方があることを教えるので	·	_		·	
	はなく、一つの考え方を教えるだけで十分だ・・・・・・・・・・	1	2	3	4	5
19		1	2	3	4	5
20	割り当てられた仕事をすべてきちんとやるよう努めている・・	1	2	3	4	5
		•	_	•	·	
21	よく緊張したり、神経過敏になったりする・・・・・・・	1	2	3	4	5
22	活気のある所にいるのが好きだ・・・・・・・・・・	1	2	3	4	5
23		1	2	3	4	5
24	人の考えを皮肉っぽく疑いの目で見がちだ・・・・・・・	1	2	3	4	5
25	明瞭な目標を持っており、それに向かって整然としたやり方で取り組んでいる・・・	1	2	3	4	5
26	自分はまったく価値がないと感じることが時々ある・・・・・	1	2	3	4	5
27		1	2		4	5
28	新しい、珍しい食べ物を試してみることがよくある・・・・・	1	2	3	4	5
29		•	2	3	4	5
30		1	2	3	4	5
	取っしいしかてウギレムはいって しけは よっかい	4	•	•	4	F
31	恐ろしいとか不安だとか感じることはめったにない・・・・	1	2	3	4	5
32		1	2		4	5
33		1	2	3	4	5
34		1	2	3	4	5
35	自分の目標を達成するようにがんばる・・・・・・・・	1	2	3	4	5

		全く		どちらとも		非常に	
		あてはまら	ない	いえない	1	あてはまる	
36	人の仕打ちによく腹を立てる・・・・・・・・・・・・	1	2	3	4	5	
37	元気で、はつらつとした人間だ・・・・・・・・・・・	I	2	3	4	5	
38	道徳的な判断は、昔からある基準に基づくべきだ・・・・・・	1	2	3	4	5	
39	私を冷たく計算高いと見ている人がいる・・・・・・・・	1	2	3	4	5	
40	必ず最後までやり通せる見通しがたってから仕事を引き受ける	1	2	3	4	5	
41	物事がうまくいかないと、がっかりして、あきらめたくなることが始終ある	1	2	3	4	5	
42	楽天家ではない・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1	2	3	4	5	
43	詩を読んだり芸術作品を見ているとぞくぞくしたり感情の高まりを感じる・	1	2	3	4	5	
44	私は現実的で情は動かない・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1	2	3	4	5	
45	人の期待にそったり、約束を守ったりしなければならないのに時々そうではない・・	1	2	3	4	5	
46	悲しくなったり、落ち込んだりすることはほとんどない・・・	1	2	3	4	5	
47	私はいつも何かしている・・・・・・・・・・・・・	1	2	3	4	5	
48	宇宙の本質や人類が置かれている状態に思いをめぐらすことにほとんど興味が無い・	1	2	3	4	5	
49	私はいつもの他の人を思いやる人間であろうとしている・・・	1	2	3	4	5	
50	バリバリと仕事をやって、それをやり遂げる・・・・・・・	1	2	3	4	5	
51	どうしようもなくて、その問題を誰かに解決してもらいたいと思うことがよくある・	1	2	3	4	5	
52	非常に活動的な人間だ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1	2	3	4	5	
53	知的好奇心が強い・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1	2	3	4	5	
54	嫌いな人には、そう知らせてやる・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1	2	3	4	5	
55	人は私のことを、きちんとした人間とは思ってない・・・・	1	2	3	4	5	
56	穴があったら入りたいと思うほど恥ずかしいことがたまにある	1	2	3	4	5	
57	人の先頭に立つよりもむしろ我が道を行く方がよい・・・・	1	2	3	4	5	
58	抽象的な考え方や理論を楽しむことがよくある・・・・・・・	1	2	3	4	5	
59	自分の望むものを手に入れるためなら、人を操ることもためらわない・・	1	2	3	4	5	
60	やることすべてにおいて、志を高く持ってがんばる・・・・・	1	2	3	4	5	
		I					

< C 大学生活について >

大学生活についてお暑ねします。下の項目にどのくらい

	で学生活についてお尋ねします。下の項目にどのくらい 5てはまりますか。あてはまる数字に をつけてください。	どちらとも				
	つてはよりよりが。のではよる数子に「をプリてください。	あてはまらた	311	いえない	١	あてはまる
1	仲の良い友人がいる・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1	2	3	4	5
2	一生懸命勉強している・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1	2	3	4	5
3	研究室の教員は学生の気持ちをわかってくれる・・・・・・・	1	2	3	4	5
	友人は私の気持ちをわかってくれる・・・・・・・・・・	1	2	3	4	5
5	成績を上げるために努力している・・・・・・・・・・	1	2	3	4	5
6	研究室の教員は学生の言うことを真剣に聞いてくれる・・・・	1	2	3	4	5
7	気軽に話しかける友人がたくさんいる・・・・・・・・・		2	3	4	5
8	授業の内容を理解している・・・・・・・・・・・・		2	3	4	5
9	研究室の教員は学生の相談にのってくれる・・・・・・・・		2	3	4	5
10	友人と一緒にいると楽しい・・・・・・・・・・・・・・	1	2	3	4	5
11	勉強でわからないことはわからないままにしない・・・・・	1	2	3	4	5
12	研究室の教員は学生に公平に接してくれる・・・・・・・・	1	2	3	4	5
13	悩みを打ち明けあえる友人がいる・・・・・・・・・・・	1	2	3	4	5
14	授業をまじめにうけている・・・・・・・・・・・・	1	2	3	4	5
15	困っているときに研究室の教員は励ましてくれる・・・・・・	1	2	3	4	5
16	同じことに興味を持っている友人がいる・・・・・・・・・	1	2	3	4	5
17	勉強に楽しく取り組んでいる・・・・・・・・・・・・		2	3	4	5
18	研究室の教員はわかりやすく教えてくれる・・・・・・・・		2	3	4	5
19	友人に好かれている・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		2	3	4	5
20	研究室の教員の言うことをきちんと守っている・・・・・・	1	2	3	4	5

< D 教員志望の動機について >

なかたが収立の職業として「数師、太老さている動機について

	らなたが将来の職業として「教師」を考えている動機について, 【下の14項目がどの程度当てはまるかを7段階で評定して〈ださい。	どちらとも						
	(下の)・4項目が2の住及当ではよるがでが及用で肝足して、ただい。	あてはまらない		いえない		あてはまる		
1	自分が生徒だった時の気持ちを大切にしたいと思ったから・・・・	1	2	3	4	5	6	7
2	かつて習った先生のようにはなりたくないと思ったから・・・・・	1	2	3	4	5	6	7
3	理想的な魅力ある教師に出会ったから・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1	2	3	4	5	6	7
4	教師になって周囲の人を見返したいと思ったから・・・・・・・	1	2	3	4	5	6	7
5	いろんな人と出会う機会のある仕事が好きだから・・・・・・・	1	2	3	4	5	6	7
6	人を教える立場に魅力を感じるから・・・・・・・・・・・	1	2	3	4	5	6	7
7	学校に関わる職場で仕事をしたいから・・・・・・・・・・・	1	2	3	4	5	6	7
8	学校という場所に魅力を感じるから・・・・・・・・・・・	1	2	3	4	5	6	7
9	不登校やいじめなどの経験を役立てたいから・・・・・・・・	1	2	3	4	5	6	7
10	恩師のようになりたいと思ったから・・・・・・・・・・・・	1	2	3	4	5	6	7
11	人に何かを教えることが好きだから・・・・・・・・・・・・	1	2	3	4	5	6	7
12	教師に向いていると人から言われたから・・・・・・・・・・・	1	2	3	4	5	6	7
13	人と接する仕事に就きたいから・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1	2	3	4	5	6	7
14	身近(家族や親戚等)に教師をしている人がいたから・・・・・・	1	2	3	4	5	6	7

< E 大学進学動機について >

次の各項目について、あなたが大学進学を希望した理由に、	全く	 どちらとも	 非常に
よくあてはまる数字を「で囲んで下さい。	ェヽ あてはまらない	いえない	あてはまる
		いんない	のてはまる
1 自分の学力を上げたいから・・・・・・・・・・・・・・		3 4	5
2 ほかの大学には学力が足りなかったから・・・・・・・・・		3 4	5
3 勉強した方が得だと思ったから・・・・・・・・・・・・	1 2	3 4	5
4 勉強しないと不安になるから・・・・・・・・・・・・		3 4	5
5 この大学の雰囲気が良いと思ったから・・・・・・・・・・	1 2	3 4	5
 6 友達を増やしたいから・・・・・・・・・・・・・・・	1 2	3 4	5
7 普通は大学にいくものだから・・・・・・・・・・・・		3 4	5
8 この大学が気に入ったから・・・・・・・・・・・・・・・・		3 4	5
9 大学に行かないと恥ずかしいから・・・・・・・・・・・		3 4	5
10 勉強しないと恥ずかしいから・・・・・・・・・・・	1 2	3 4	5
10 18 13 0 13 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15		О 4	J
11 大学にはいかなければならないものだから・・・・・・・		3 4	5
12 行事が面白そうだから・・・・・・・・・・・・・・・・		3 4	5
13 親や保護者が行けというから・・・・・・・・・・・・・	1 2	3 4	5
14 説明会や情報誌などで調べて良いと思ったから・・・・・・・	1 2	3 4	5
15 部活動やサークルをやりたかったから・・・・・・・・・	1 2	3 4	5
16 みんなが行くから・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1 2	3 4	5
17 知識を増やしたいと思ったから・・・・・・・・・・・		3 4	5
18 この大学が好きだから・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1 2	3 4	5
19 自分が行きたいかよりも学力レベルに合わせて選んだから・・	1 2	3 4	5
20 大学にいっておけば将来の選択の幅が広がるから・・・・・・	1 2	3 4	5
 21 色々な資格をとるために必要だから・・・・・・・・・・	1 2	3 4	5
22 高卒では嫌だから・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1 2	3 4	5
23 自分の将来の夢を叶えるため・・・・・・・・・・・		3 4	5
24 大学というものが楽しそうだから・・・・・・・・・・・			5
25 大学まではいっておいた方がいいと思ったから・・・・・・			5
20 / Ta clavi / covincy// vivi clas / ch s		О 4	J
26 就職することが嫌だったから・・・・・・・・・・・・		3 4	5
27 大学院に進学したいから・・・・・・・・・・・・・・		3 4	5
28 先生が行けと言ったから・・・・・・・・・・・・・・		3 4	5
29 大学に行かないと就職のときに困るから・・・・・・・・		3 4	5
30 就職のための勉強をしたいと思ったから・・・・・・・・		3 4	5
 31 大学は楽しいと思ったから・・・・・・・・・・・・・	1 2	3 4	5
32 大学に進学してから就職したいと思ったから・・・・・・・			5 5
32 人子に進子してから就職したいと思うたから・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1 2	3 4	5 5
33 日ガの子川グバルから考えることでものづていて良いと思うだから	ı Z	ა 4 	ິວ

- < F 大学の授業全般について >
- 1.大学の授業全般にどのくらい出席していましたか。該当する にチェックしてください。

出席していない どちらかというと出席していない どちらともいえない どちらかというと出席していた 出席していた

2.大学の授業全般でどのくらい頑張りましたか。該当する にチェックしてください。

頑張っていない どちらかというと頑張っていない どちらともいえない どちらかというと頑張った 頑張った

3.大学の授業全般にどのくらい満足しましたか。該当する にチェックしてください。

満足していない どちらかというと満足していない どちらともいえない どちらかというと満足している 満足している

- 4.最も思い出に残る授業はどの授業ですか。授業名を下のカッコに書いてください。(複数回答可)
- 5.教師になった際に役に立つと思える授業はどの授業ですか。授業名を下のカッコに書いてください。(複数回答可)

(

6.採用試験に役に立った授業はどの授業ですか。授業名を下のカッコに書いてください。(複数回答可)

(G.H.I.については、履修の手引きをご覧になってご記入ください。)

- < G 学校教育基礎研究の科目(教職の意義や児童生徒の発達理解等に関する科目)について >
- 1.学校基礎研究の科目にどのくらい出席していましたか。該当する にチェックしてください。

出席していない どちらかというと出席していない どちらともいえない どちらかというと出席していた 出席していた

2.学校基礎研究の科目でどのくらい頑張りましたか。該当する にチェックしてください。

頑張っていない どちらかというと頑張っていない どちらともいえない どちらかというと頑張った 頑張った

3. 学校基礎研究の科目にどのくらい満足しましたか。該当する にチェックしてください。

満足していない どちらかというと満足していない どちらともいえない どちらかというと満足している 満足している

- < H 学校教育実践研究の科目(教科研究や学校生活研究)について >
- 1.学校教育実践研究の科目にどのくらい出席していましたか。該当する にチェックしてください。

出席していない どちらかというと出席していない どちらともいえない どちらかというと出席していた 出席していた

2.学校教育実践研究の科目でどのくらい頑張りましたか。該当する にチェックしてください。

頑張っていない どちらかというと頑張っていない どちらともいえない どちらかというと頑張った 頑張った

3. 学校教育実践研究の科目にどのくらい満足しましたか。該当する にチェックしてください。

満足していない どちらかというと満足していない どちらともいえない どちらかというと満足している 満足している

- < | 学校教育発展研究の科目(専門領域選択科目や自由科目)について >
- 1.学校教育発展研究の科目にどのくらい出席していましたか。該当する にチェックしてください。

出席していない どちらかというと出席していない どちらともいえない どちらかというと出席していた 出席していた

2.学校教育発展研究の科目でどのくらい頑張りましたか。該当する にチェックしてください。

頑張っていない どちらかというと頑張っていない どちらともいえない どちらかというと頑張った 頑張った

3. 学校教育発展研究の科目にどのくらい満足しましたか。該当する にチェックしてください。

満足していない どちらかというと満足していない どちらともいえない どちらかというと満足している 満足している

- < J 教育実習について >
- 1.3年次と4年次の教育実習はどの学校いきましたか。下のカッコに書いてください。

3年次**(**) 4年次**(**)

2.3年次の教育実習でどのくらい頑張りましたか。該当する にチェックしてください。

頑張っていない どちらかというと頑張っていない どちらともいえない どちらかというと頑張った 頑張った

3.3年次の教育実習にどのくらい満足しましたか。該当する にチェックしてください。

満足していない どちらかというと満足していない どちらともいえない どちらかというと満足している 満足している

4.4年次の教育実習でどのくらい頑張りましたか。該当する にチェックしてください。

頑張っていない どちらかというと頑張っていない どちらともいえない どちらかというと頑張った 頑張った

5. 4年次の教育実習にどのくらい満足しましたか。該当する にチェックしてください。

満足していない どちらかというと満足していない どちらともいえない どちらかというと満足している 満足している

- < K 卒業研究について >
- 1.卒業研究でどのくらい頑張りましたか。該当する にチェックしてください。

頑張っていない どちらかというと頑張っていない どちらともいえない どちらかというと頑張った 頑張った

2. 卒業研究にどのくらい満足しましたか。該当する にチェックしてください。

満足していない どちらかというと満足していない どちらともいえない どちらかというと満足している 満足している

<	~ L 教職自主	Eサークルへの	参加について	>		
1					1にいつからか数字を書)年生の(
	. どのくらいの	対度で教職自	のみお聞きします 主サークルに参	加しましたか。下	「のカッコに数字を書い	てください。
	教職自主サー	クルではどのく	くらい頑張りまし		にチェックしてください。	複数の活動を行っ
	頑張っていない	どちらかという	と頑張っていない	どちらともいえな	い どちらかというと頑張	った 頑張った
				ますか。該当する 答えてください。	にチェックしてください。	複数の活動を行っ
	満足していない	どちらかというと	満足していない	どちらともいえない	どちらかというと満足してい	る 満足している
<	< M ボランテ	ィア活動への	参加について	>		
1			- · · · · ·	場合は下のカッコ ∹活動名・施設名(に活動名・施設名を全 ⁻	てあげてください。
)頻度でボラン		加しましたか。下	「のカッコに数字を書い	てください。
		活動ではどのく			にチェックしてください。	複数の活動を行っ
	頑張っていない	どちらかという	と頑張っていない	どちらともいえな	い どちらかというと頑張	った 頑張った
				ますか。該当する 答えてください。	にチェックしてください。	複数の活動を行っ
	満足していない	どちらかというと	満足していない	どちらともいえない	どちらかというと満足してい	る 満足している
<	× N 教員免討	杵状以外の資料	各取得状況につ	いて >		
	. 教員免許状以 こください。	外に何か資格を	を取得しましたか	、取得した場合は	下のカッコに取得した	資格名を全てあけ
	• • • • •	ない 取得し	た 取得し	,た資格名()
-	人下の質問は取 . 資格取得のた。			か。該当する にき	チェックしてください。	
	頑張っていない	どちらかという	と頑張っていない	どちらともいえな	い どちらかというと頑張	った 頑張った
3	. 教員免許以外	の資格を取得し	たことにどのく	くらい満足してい	ますか。該当する に ヂ	・ェックしてく ださい。

満足していない どちらかというと満足していない どちらともいえない どちらかというと満足している 満足している

<	〇 教員採用	試験に向けての専門学校	や通信教育について	; >	
	げてください。	こ向けて専門学校や通信教育	育で勉強をしていました	たか。行った場合は下のカッ	コに学校名を
	していない	していた 学校名 ()	
		いた方にのみお聞きします 言教育ではどのくらい頑張り)ましたか。該当する	にチェックしてください。	
π	質張っていない	どちらかというと頑張っていない	1 どちらともいえない	ト どちらかというと頑張った	頑張った
3.₹	専門学校や通信	言教育にどのくらい満足して	こいますか。該当する	にチェックしてください。	
沛	最足していない	どちらかというと満足していない	どちらともいえない	どちらかというと満足している	満足している
<	P 大学での	部活動・サークル活動につ	117 >		
_		フルに参加していましたか。 ヾてあげてください。	参加していた場合は	、下のカッコに参加してい	た部活動やサ
•		よい 参加していた 部	3活動やサークル名 ()
2.	どのような部活 体育会系部活	ロしていた方にのみお聞きしま 動やサークルに参加していま 活動 文化系部活動 フルにどのくらいの頻度で参	: ∪たか。 該当する に 体育系サーク	ル 文化系サークル	
	(収注動物サーク)週間に(7 ル活動ではどのくらい頑 況		- マー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	海粉の活動を
		ナメインとなる活動を思い浮			後数り/口動を
π	頁張っていない	どちらかというと頑張っていない	1 どちらともいえない	1 どちらかというと頑張った	頑張った
5.7	大学での部活動	かやサークル活動にどのくE	い満足していますか	、該当する にチェックして	ください。
沛	詩足していない	どちらかというと満足していない	どちらともいえない	どちらかというと満足している	満足している
<	Q アルバイ	トの経験について >			
1.		ていましたか。していた場合 していた していたア		したアルバイト名を全てあ	げてください。)
		いた方にのみお聞きします 頻度でアルバイトをしてい	ましたか。下のカッ:	コに数字を書いてください。	•
3.7)週間に(はどのくらい頑張りましたか ノとなるアルバイトを思い3	い。該当する にチェ		パイトを行っ
π	頁張っていない	どちらかというと頑張っていない	1 どちらともいえない	N どちらかというと頑張った	頑張った

4.アルバイトにどのくらい満足していますか。該当する にチェックしてください。

<	R 教員採用記	試験への努力に	ついて >					
	いつくらいから (ら 教員採用試験の)年生の(はじめました :)月くらい	か。下のカ [、]	ッコに数字	を書いてくだ	さい。
	いつくらいに教 (対員採用試験を受)年生の(下のカッコ!	こ数字を書	いてください	
	いつくらいから (5教員採用試験の)年生の(のカッコに	数字を書い	てください。	
4.	もともと教員志	望でしたか。誃	もませる に	チェックしてくだ	さい。			
	もともと教員	志望ではなかった	さ もん	ともと教員志望	だった			
5.	教員採用試験の)勉強では何に力	を入れて勉	強しましたか。	該当する	にチェックし	」てください。 (3	複数回答可)
	専門教養	教職教養(一般を	を含む)	模擬授業(場面	指導を含む)	実技	面接	小論文
	-	教員採用試験の	ために平均し	して1日にどの)くらい勉強	むましたか	、下のカッコ	1に数字を
	ハてください。 平均して1日に	() 時間く	311				
7.	教員採用試験 σ	ために誰かと相	談しました	:か。該当する	にチェック	してください。	(複数回答可	Γ)
	同学年の友人	先輩	後輩	家族・親類	大学の	教員	学校の教師	
8.	教員採用試験を	E受けるにあたっ	て、どの程	度悩みました	か。該当す₹	る に1つき	チェックしてくた	さい。
	悩まなかった	どちらかという	と悩まなかっ/	さ どちらと	もいえない	どちらかと	こいうと悩んだ	悩んだ
9.	教員採用試験を	受けるにあたっ	て、どの程	度教員になり <i>1</i>	といですか。	該当する	にチェックして	てください。
	教員にしか就師	職を考えていなし	1 主	として教員志望	数 員	でも会社・	官庁どちらて	ごもよい
10	. 大学が実施し [.]	ている教員採用 [・]	セミナーは	受けましたか 。	該当する	に1つチェ	ックしてく だ さし	١.
	受けなかった	受けた						
11	. 各県の教育委	員会の説明会に	参加しました	たか。該当する	に1つチ	ェックしてくだ	ごさい。	
	参加しなかった	た 参加し <i>1</i>	בֿ					
12	. 大学が掲 示して	こいる各県の教員	の募集状況	を知っています	か。該当する	ら に1つチ	- - ェックしてくだ	さい。
	知らなかった	知っている	3					
13	. 教員採用試験(のために就職支	援室を利用	しましたか。 記	&当する に	1 つチェック	りしてく だ さい。	
5	利用しなかった	どちらかというと利	用しなかった	どちらともに	ハえない	どちらかという	うと利用した	利用した

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

< 執 筆 者 一 覧 >

1 調査目的 柳澤良明

2 研究体制 柳澤良明

3 調査方法 大久保智生

4 調査結果 A~F 上原禎弘

G~K 山本木ノ実

L~N 山下隆章

O~Q 野崎武司

R 山岸知幸

S 大久保智生

5 考察 ・ 大久保智生

柳澤良明

平成21年度 文部科学省委託事業「教員の資質能力追跡調査事業」

追跡調査による教員の

養成・採用・研修システムの検証と改善

成果報告書

編集・発行 香川 大学

平成22年3月25日発行